

学生による授業評価アンケート(報告)

—集計結果および授業改善策—

平成 30 (2018) 年度

別 府 大 学

目 次

1. アンケート結果の総括	1
「学生による授業評価アンケート」の結果について	
FD 委員長	
2. 大学全体の集計	
全体集計	18
全体集計 講義	19
全体集計 演習	20
全体集計 実習	21
3. 各学科別集計	
文学部国際言語・文化学科	23
文学部史学・文化財学科	24
文学部人間関係学科	25
食物栄養科学部食物栄養学科	26
食物栄養科学部発酵食品学科	27
国際経営学部国際経営学科	28
教職課程	29
司書課程	30
3. 2018 年度学生による授業評価アンケート実施要項等	
平成30年度学生による授業評価アンケート実施要領	31
平成30年度学生による授業評価アンケート	32

1. アンケート結果の総括

別府大学FD委員会
委員長

(1) 経緯

別府大学では、授業改善を目的に平成14年に「学生による授業評価アンケート調査」をはじめて実施し、以降毎年アンケート調査を行ってきた(2018年度は12回目)。前期と後期で交互に調査を実施しており、2018年度は前期(14週目～15週目)にアンケート調査を行った。

(2) アンケートの質問項目

「学生による授業評価アンケート調査」の設問は、大きくQ1群とQ2群、および自由記述欄に分けられ、Q1群とQ2群ではさらに細かい設問が設定されている。また、自由記述は2つの設問に関して記述を求めている。Q1群は「あなたの受講態度について」という設問で、下記の6項目について、学生自身が自己評価を行う。Q2群は「授業内容について」で、対象となる授業科目に関して12項目の質問が設定されている。Q1群の設問5、6以外は、それぞれ、⑤そう思う、④どちらかといえばそう思う、③どちらともいえない、②どちらかといえばそう思わない、①そう思わない、の5段階で評価を行う。自由記述欄は「1. この授業で良いと思う点を教えてください」と「2. この授業の改善点を教えてください」の設問で構成されている。設問Q1群とQ2群については、このレポート内の「(4) アンケート結果の分析」で報告を行い、自由記述欄については「(5) 自由記述から授業改善のヒントを探る」で報告する。次に設問Q1群とQ2群の小項目を記す。

設問Q1群

- ①あなたはこの授業を休んだり遅刻しないで受講しましたか。
- ②授業中に私語、いねむりや携帯電話の使用等をせず教員の話をよく聴くように努めましたか。
- ③あなたはこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか。
- ④この授業内容の課題やレポートなどに積極的に取り組んだと思いますか。
- ⑤この授業の予習・復習や課題・宿題のために、一週間あたり平均何時間勉強しましたか。
[内訳は、⑤2時間以上、④1～2時間、③30分～1時間、②15～30分、①15分未満]
- ⑥この授業の予習・復習や課題・宿題を主にどこで行っていますか。当てはまるものを2つ選んで下さい。
[内訳は、①家(自宅、下宿、アパート、寮等)、②図書館、③ラーニング・コモンズ、④パソコン室、⑤ゼミ室(教員の研究室等)、⑥空き教室、⑦実験室・実習室等、⑧食堂、⑨学生ホール、⑩その他()]

設問Q2群

- ①この授業でシラバスに示されている授業概要・到達目標は十分に説明されましたか。
- ②授業時間は確保されていましたか。
- ③学生の理解度や到達度を確認し、授業を進めていましたか。

- ④教材（テキスト・配布資料）、教具の利用は適切でわかりやすい授業でしたか。
- ⑤板書の仕方や視聴覚機器による提示は効果的でしたか。
- ⑥教員の話し方は、明瞭で聞き取りやすかったですか。
- ⑦学生が質問したり、意見が述べられるように配慮がなされていましたか。
- ⑧教員の授業に対する熱意・真剣さが感じられましたか。
- ⑨教員は学びの環境を保つように配慮していましたか。
- ⑩教員はわかりやすく説明するように配慮していましたか。
- ⑪この授業でシラバスに示されている到達目標が達成できましたか。
- ⑫この授業は充実していて、満足できるものでしたか。

(3) アンケートの実施方法

このアンケート調査では、専任教員の授業科目のみならず、非常勤教員の授業も調査対象としている。専任教員の調査対象となる授業科目は各教員2科目で、教員が自ら選択する。基本的には講義1科目と演習・実験・実習1科目が選択される。しかしながら講義科目だけを担当している教員は、適宜講義2科目を選択する。非常勤教員が担当する科目については、各学科が選択する5科目以内を対象とした。原則としては、受講生が極端に少ない授業はアンケート調査の対象から除くことになっているが、少人数の授業もやむを得ず選択している場合（演習科目が多い）もある。アンケートの対象となっている科目の中には、受講者数が100名を超えるものがある一方、45の科目において受講者数が10名以下となっている。この受講者数の極端な偏りは、2009年の改組以来本学が抱え続ける問題だが、受講者数の両極を同じアンケートで比較することの妥当性については今後再考する必要があるのではないだろうか。

平成30年度の「学生による授業評価アンケート調査」は、前期末の7月17日(火)から27日(金)にかけて実施した(14～15週目)。7月上旬に教員に対して評価対象授業科目の届出を求め、実施期間までにアンケートの準備を行った。

7月10日に封筒に入れた受講生数分のアンケート用紙を各教員のメールボックスに配布した。アンケート調査の作業は以下の通りである。1. 調査対象授業の終了20分前を目途に受講生にアンケート用紙を配布。2. 黒板に「科目名」「科目コード」「担当教員名」を板書。3. 学生がアンケート用紙に記入（質問があれば受け付ける）。4. アンケートの回収と提出。回収・提出担当は2、3名の受講者が行った。作業は、①アンケートの回収と枚数の確認。②封筒の表紙に「回答者数」「実施日」の記入。③封筒にアンケート用紙を入れて封をし、事務局へ提出、となる。記入から回収まで、アンケート調査に不正が行われないよう努めており、学生に匿名で記入させることで、調査の公平性を保つようにしている。

2018年9月29日に行われた学生とのFD研修会において、参加学生から「アンケート記入時間(20分)が長すぎる」との意見が複数出された。中には「早く切り上げて授業してほしい」という厳しい意見もあった。反面、アンケートを電子化し、授業時間外に評価する案については、参加学生の多くが「それでは記入しない学生が増える」と反対意見を述べた。授業時間内に適切な時間でアンケートを記入することが望まれているわけなので、今後、アンケート記入時間については再検討の必要がある。

アンケートの集計は例年通り外部委託した。集計は大学全体の平均値と教員別の質問項目ごとの比較、教員別の自由記述の整理、学部・学科ごとの平均値の一覧を基本とする。

アンケート結果が出ると、各教員に本人の評価結果（質問項目別の数値と自由記述）、全体

の平均値を通知した。それを受けて、各教員は評価結果に基づき、「授業改善プラン」を提出した。そして調査結果と授業改善プランを報告書にとりまとめ、学生の閲覧に供する。最後に各教員の評価結果を学長と各学部長に提供し、学長と学部長は評価が極端に低い教員に対して助言を行うこととなっている。

本学では、専任教員については2科目に絞ってアンケート調査を実施してきた。これは下記の理由で一教員2科目ごとの実施が適切と判断してきたためである。

1. 対象科目の増加に伴う学生の負担増に対する危惧
2. 授業技術・熱意等に関する学生からの評価を教員が把握するためには2科目の調査で十分であるとの認識。
3. ミニツッペーパー等の活用で対象外科目の授業改善がある程度可能であること。

2科目での実施に一定の根拠があることは事実であるが、このスキームの継続に拘らず、今後大学FD委員会で議論する予定である。そこでは、短期大学部との整合性（全科目実施）、アセスメントポリシーとの関連性、認証評価等の要請などを考慮に入れ、対象科目数や質問内容、集計方法の再検討を行うことにしている。

(4) アンケート結果の分析

① 全体の評価と傾向

全体の傾向としては前年度と大きな変化は見られなかった。Q1群は学生の自己評価であり、Q2群はアンケートの対象となった授業に対する評価であるため、Q2群がQ1群より低い評価の科目は、学生の意欲に授業の内容や教員の教授方法が十分に答えられなかったことを示している。幸いなことに、Q1群がQ2群より高い科目の数は減少し、1点以上開きが見られる科目は存在しない。全体的傾向としてQ2群がQ1群より高い科目が多く、昨年までと同様、授業改善は着実に進んでいると言えるだろう。しかし、Q1群の点数が3点台に留まる科目も多くあり、学生の授業を受ける意欲や勤勉さを高める工夫が必要である。

設問の中で点数化ができないのは、Q1の設問6である。これは授業外学修の場所を問うもので、それ以外の設問に関しては、回答の⑤は5ポイント、④は4ポイント、③は3ポイント、②は2ポイント、①は1ポイントに換算して集計を行った。

設問Q1群に関して言うと、設問5の全学の平均値が2.37と極端に低いことに注目すべきである。設問1～4はすべて平均値が4点を上回るだけに、この低い数値は問題である。学生の予習・復習等の自主学習時間を適切に確保するための方途の確立は急務であると言える。

アンケートが開始された当初（平成14年ごろ）は、設問Q1群、Q2群がいずれも2ポイント台となるような極端に低い評価の科目があったが、その後改善が進み、今回も2ポイント台の科目は存在しなかった。しかしながら、全体203科目中42科目において、Q1群の結果が3ポイント台に留まっている。2017年度（55科目）から減少してはいるが、さらなる改善が必要とされることは間違いない。Q1群の最低スコアは、3.36ポイントの講義科目であった。また、Q2群において3ポイント台の科目は13科目あり、2017年度から4科目減少した。今回は全体の科目数は増加しているので、この数値の変化は昨年からの着実な改善が進んでいることを示している。Q2群の最低スコアは3.17の講義科目であった。

②高い評価の科目の傾向

今回のアンケートで、Q1平均の最高点は4.98（演習、学生数10名）、Q2平均の最高点は5.0点（演習、学生数5名）であった。

設問Q2群の平均スコアが4.80ポイント以上の上位24科目の内訳は、演習13科目、講義8科目、実習、実技、実験が各1科目であった。今年度も少人数の授業は高い評価を受けやすい傾向が続いていると言える。講義8科目のうち学生数が最大なのは41名で、30名を超える科目は他には存在しない。つまり、講義や演習の授業形態にかかわらず、少人数クラスの評価が高い傾向にある。

しかしまた同時に、上位24科目のうち、受講者数が10名を下回る科目は11科目に留まっており、45名の受講者がいる演習科目をはじめ、15名～29名のクラスで高い評価を得る授業が増えていることも事実である。逆に10名以下の受講生でありながら、低い評価となった授業もあった。「受講者数が少なければ高い評価になる」という定説は幻想となりつつある。授業改善とは分離するかもしれないが、今後のカリキュラム編成などの議論において「適正な受講者数」を考える際に、今年度見られた変化は何かのヒントとなるかもしれない。

また、今後は「形態別」「受講者数30名以上・以下」などの条件で科目を分類し、その分類の中で比較を行ったり、順位付けを行ったりすることも視野に入れた方が望ましいのではなかろうか。

自由記述の全体的特徴は、「わかりやすい」「眠気をさます工夫がされている」「意欲が自然とわいてくる」などが、高評価につながる要素であった。また、「教員の公正さ」「やさしさ」「熱意」も高評価に強く影響している。反面、授業内容の「高度さや専門性」についての言及は極めて少なかった。「高評価＝高い専門性」の図式は本学では存在していない可能性が高く、各専門に求められる質や水準が保証されているかが疑わしい状態に陥っているかもしれない。アセスメントポリシーの制定に耐えられる状態ではないのではなかろうか（本学だけでなく多くの大学が抱える問題だろう）。内的質保証の問題は今後ますます議論を強制される主題故に、本学も早急に対応策を探る必要があると思われる。

③低い評価の科目の傾向

低い評価の科目には講義系の授業が多い。設問Q2群の平均スコアが4.0ポイント未満の科目は13科目あり、その内訳は、講義11科目、演習2科目である。しかしながら、これらの科目の受講者数は一概に多いとは言えず、30名～50名の授業が多い。100名を超える科目は1科目（108名）だけであり、逆に10名以下のサイズが2科目含まれていた（7名、4名）。同一教員が複数科目で低評価を受ける場合もあり、これらの科目においては、クラスのサイズより教員の授業手法が低評価の原因であると判断せざるを得ない。

Q2平均が4.0ポイントを下回っている科目のうち、4科目はQ1群の平均点が4.0ポイントを超えている。つまり、学生が自らの授業態度をある程度評価しながらも、授業内容を低く評価していることが示されており、この4科目は学生の授業に対する不満が強いと結論できる。

スコアが低い科目に関する自由記述による評価について述べると、全体的に学生は改善点よりも講義の良い点をより詳しく言及する傾向が強く、具体的に改善ポイントを指定することは少ない。その中で、低評価科目に対する改善の要望は、多くが授業手法に関するものである。板書の使い方や進行のスピード、声の小ささ、プリント等の資料の不足などが挙げられていた。特に、板書については、肯定的な言及が少ない反面、問題点を挙げる意見が多かった。他には、休講・補講の多さ、欠席者の多さ、空調の設定、授業時間の超過や不足が挙げられていた。教

員の授業方法や技術と関連しないものもあるが、教員は可能な限りそのような側面にも目を配るべきであろう。

④授業外の学習時間

Q 1-5 は、学生が授業時間外に学習にどれだけの時間を費やしたかを確認する設問である。回答は⑤ 2 時間以上、④ 1～2 時間、③ 30 分～1 時間、② 15～30 分、15 分未満の 5 段階で、これらを 5 ポイントから 1 ポイントの配点で数値化した。この配点に関しては、短時間の学習が 15 分刻みであるのに対し、長時間が 1 時間刻みとなっており、再検討の余地があるように思える。

授業形態の違いでその平均を見ていくこととする。授業には、「講義」「演習」「実験・実習」の形態がある。これらの形態による授業外学習時間を比較する。

まず、5段階の学習時間を平均した結果は、講義：2.24、演習：2.69、実験・実習：2.82となった。いずれも高い数値とは言えず、演習、実験・実習は昨年度の数値を下回った。講義は若干の増加が見られたが、実験・実習との差は依然として大きい。

次に、形態ごとの回答数の割合を示すと、前年と類似した割合となっており、数字で見れば微減となっている。講義では 40%近くが 15 分未満しか学習時間を取っておらず、2 時間以上の学習時間も 5%程度にとどまっている。一方演習では、15 分未満が 20%強となる一方で、17%が 2 時間の学習時間を取っている。しかしながら、30 分～1 時間も 30%程度存在しており、十分な学習時間を確保しているとは言い難い。授業外の学習時間は長い方が良いが、すべての科目でそれぞれ 2 時間以上の学習を求めるのは現実的ではない。しかし、授業外学習の習慣をつけさせるには、まず 30 分以上の学習時間の確保を目指す必要があるのではないだろうか。現状 15%未満に学習時間がとどまっている学生を 30 分～1 時間の層に移行させる努力を教員が行う必要があるように思われる。

※グラフ「形態別 学習時間の割合」p13

各学科での学習時間の平均スコアは以下の通りである。（ ）内は昨年度の数値。

● 国際言語・文化学科	2.38 (2.58)
● 史学・文化財学科	2.54 (2.28)
● 人間関係学科	2.32 (2.09)
● 教職課程	2.22 (2.31)
● 司書課程	2.05 (2.23)
● 食物栄養学科	2.28 (2.33)
● 発酵食品学科	2.33 (2.82)
● 国際経営学科	2.53 (2.58)

こちらも前年度とかなり近い結果となった。昨年は後期の実施だったため単純な比較は難しいが、史学・文化財学科や人間関係学科において改善が見られるものの、全体的にはポイントが下がっている。特に、教職課程や司書課程のスコアが落ち込んだことに関しては、資格や免許を取得することを目標とする科目であることを考慮に入れれば、深刻度はより大きいと思われる。内部質保証の観点から今後の改善を検討すべきであろう。

次に割合をグラフで見る。

総合的には史学・文化財学科が最もスコアが高いが、狭い範囲での差であり突出してはいない。最もスコアの低かった人間関係学科及び教職課程では「①15分未満」が半数近くいる。15分未満という学習時間は、実際にはほとんど学習に足る長さではないため、授業外の学習時間を取らなかったこととほぼ同義と言える。そのため、「①15分未満」の回答の割合の高さは深刻である。「①15分未満」の割合を見ると、前年度最も少なかった司書課程が今回最も多くなり、40%を超えている。更に「⑤2時間以上」学習時間を取った学生は5%以下となった。少ない科目数での比較であることや前回は後期に調査を実施したことを考えると、明確な原因を見出すのは困難だろうが、もし、司書課程で今年度起きた変化の原因を特定できれば、学習時間の低下防止と、改善策に繋がる可能性があるかもしれない。

Q1の設問は学生による自己評価である。これらの各設問と学習時間の相関を、散布図と相関係数で確認した。ただしこれらの確認では、大きな傾向は見えるが、係数の差がそのまま相関の実際の差となるわけではない点に、注意が必要である。

全体的な学習時間に関しては注目に値するほどの大きな変化がなかったが、相関の傾向は変化している。

まず、Q1-1の「あなたはこの授業を休んだり遅刻しないで受講しましたか。」との間では、0.02という非常に低い相関となった。一方、Q1-3「あなたはこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか。」やQ1-4「この授業内容の課題やレポートなどに積極的に取り組んだと思いますか。」といった学生自身の熱心さを確認する設問は、例年通り相関が見られているが、それでも昨年度より低くなった。

※グラフ「受講態度と学習時間の相関(Q1-1)」 p14

※グラフ「本人の熱心さと受講態度と学習時間の相関(Q1-3)」 p14

※グラフ「課題への取り組みと学習時間の相関(Q1-4)」 p15

Q2の設問は学生による授業への評価である。これらの各設問とQ1の学習時間の相関を確認する。

Q2の設問ではどれも相関が昨年度より減っている。つまり、授業評価の高低そのものは、学生の授業外の学習時間に直接強い影響を与えるわけではないことが確認できる。そしてその傾向がより強まっていると考えられる。結果として、高評価の授業の受講者が、授業外に学習時間を多く確保するわけではないことが推測される。極論を述べると、授業評価に関して学生が「授業外の課題が少ない」ことを高評価の理由としている可能性も否定できない。授業が魅力的であることに加え、時間外学習がその魅力を支え、時間外学習が授業と相乗効果を持つようなものにしない限り、授業外学習時間の改善には繋がらないと思われる。

ここでは、Q2の設問の中から「シラバス」「理解度の確認」「教員の熱意」の項目と学習時間の関係を取り上げてみたい。まず、シラバス説明と学習時間の相関は0.15と低い状態が続いている。シラバスは教員の記入する項目がここ数年毎年のように増加し、時間外学習なども詳細に明記するようになったにもかかわらず、この相関が低下を続けているということは、シラバスが机上の空論的存在になっていることを示している。改善策の議論は急務だろう。同様に、理解度・進度の確認と学習時間の相関も0.16と低い。小テストなどで理解度を計測する試みは語学系の授業等で頻繁に行われているが、30分以下の自主学習で対応が可能なテストとな

っているのかもしれない。最後に、教員の熱心さと学習時間の相関は、0.22となった。「シラバス」や「理解度」よりは高くなったが、低い数値であることにかわりない。教員の熱意を評価する意識が学生にあったとしても、それが積極的な自主学習にまでは及ばないというのが事実でだろう。これらの点については、各教員だけが解決策を探るのではなく、FD研修会等で大学全体として議論を深めるべきではないかと考えている。

※グラフ「シラバス説明と学習時間の相関(Q2-1)」 p15

※グラフ「理解度・進捗の確認と学習時間の相関(Q2-3)」 p16

※グラフ「教員の熱心さと学習時間の相関(Q2-8)」 p16

⑤総合的な自己評価と授業評価

Q1-3「あなたはこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか。」と、Q2-12「この授業は充実していて、満足できるものでしたか。」は、それぞれ自己及び授業に対する総合的な評価を問う設問である。これらの設問と、他の設問の相関を見ることで、自己評価及び授業評価に影響の大きい要素を確認できると考えられる。

まずQ1-3と、他の設問の相関を見る。

No.	問い	相関係数
Q1-1	あなたはこの授業を休んだり遅刻しないで受講しましたか。	0.54
Q1-2	授業中に私語、いねむりや携帯電話の使用等をせず教員の話をよく聴くように努めましたか。	0.78
Q1-3	あなたはこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか。	
Q1-4	この授業内容の課題やレポートなどに積極的に取り組んだと思いますか。	0.75
Q1-5	この授業の予習・復習や課題・宿題のために、1週間あたり平均何時間勉強しましたか。	0.30
Q2-1	この授業でシラバスに示されている授業概要・到達目標は十分に説明されましたか。	0.52
Q2-2	授業時間は確保されていましたか。	0.45
Q2-3	学生の理解度や到達度を確認し、授業を進めていましたか。	0.56
Q2-4	教材(テキスト・配布資料)、教具の利用は適切でわかりやすい授業でしたか。	0.53
Q2-5	板書の仕方や視聴覚機器による提示は効果的でしたか。	0.52
Q2-6	教員の話し方は、明瞭で聞き取りやすかったですか。	0.50
Q2-7	学生が質問したり、意見が述べられるように配慮がなされていましたか。	0.43
Q2-8	教員の授業に対する熱意・真剣さが感じられましたか。	0.50
Q2-9	教員は学びの環境を保つように配慮をしていましたか。	0.54
Q2-10	教員はわかりやすく説明するように努めていましたか。	0.50
Q2-11	この授業でシラバスに示されている到達目標が達成できましたか。	0.48
Q2-12	この授業は充実していて、満足できるものでしたか。	0.54

当然ながら、Q1群との相関が高く、対してQ2群との相関は低くなっている。

Q1の中で見ると、「欠席や遅刻」に関する設問と、「授業外の学習時間」に関する設問との相関が弱く、「授業中の態度や学習」に関する設問との相関が高く出ている。学生が、Q1

－3で問われている「授業に意欲的に取り組む」という内容を、あくまで「出席した授業時間内」と限定し、「遅刻・欠席」や「授業外の学習」を含まないものとして認識している可能性が高いことを示している。一方、Q2群との相関では、どの設問もそれほど大きな差は出ていない。しかしながら、Q2-7の「学生が質問したり、意見が述べられるように配慮がなされていたか。」との相関が低い点は、現在大学に求められているアクティヴ・ラーニング的要素を考慮に入れると、改善策を早急に考えるべき点と言えるのではなかろうか。

次に、Q2-12について考える。この設問は、学生による授業への総合的な評価であり、この設問との相関は重要である。

No.	問い	相関係数
Q1-1	あなたはこの授業を休んだり遅刻しないで受講しましたか。	0.09
Q1-2	授業中に私語、いねむりや携帯電話の使用等をせず教員の話をよく聴くように努めましたか。	0.44
Q1-3	あなたはこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか。	0.54
Q1-4	この授業内容の課題やレポートなどに積極的に取り組んだと思いますか。	0.46
Q1-5	この授業の予習・復習や課題・宿題のために、1週間あたり平均何時間勉強しましたか。	0.18
Q2-1	この授業でシラバスに示されている授業概要・到達目標は十分に説明されましたか。	0.68
Q2-2	授業時間は確保されていましたか。	0.70
Q2-3	学生の理解度や到達度を確認し、授業を進めていましたか。	0.88
Q2-4	教材(テキスト・配布資料)、教具の利用は適切でわかりやすい授業でしたか。	0.80
Q2-5	板書の仕方や視聴覚機器による提示は効果的でしたか。	0.71
Q2-6	教員の話し方は、明瞭で聞き取りやすかったですか。	0.81
Q2-7	学生が質問したり、意見が述べられるように配慮がなされていたか。	0.76
Q2-8	教員の授業に対する熱意・真剣さが感じられましたか。	0.81
Q2-9	教員は学びの環境を保つように配慮をしていましたか。	0.87
Q2-10	教員はわかりやすく説明するように努めていましたか。	0.88
Q2-11	この授業でシラバスに示されている到達目標が達成できましたか。	0.80
Q2-12	この授業は充実していて、満足できるものでしたか。	

まず欠席や遅刻に関するQ1-1のスコアが著しく低い。学生にとっては、授業の満足度と自身の参加の間には、明確な関連が認識されていないようである。授業に極めて消極的に取り組んだ学生が授業を低く評価する可能性については、これまでも、教員から不満が挙がる一因となってきたので、この点が改善できる設問の設定や、別の調査方法の確立などを議論する必要があると思われる。

Q1ではやはり2, 3, 4の設問の係数が高く、特にQ1-3の「学生の意欲」に関するものが最も高い。充実し満足できる授業だから意欲が持てたのか、あるいは意欲があったから充実し満足できたと感じたのかは、この資料だけでは読み取れないが、良い傾向と言えるだろう。

Q2群の中では、0.8以上の項目が多く、極端な開きはない。0.8以上の項目は、「わかりやすさ・学びやすさ」に関する設問が主で、最も高い0.9をマークしたのは、Q2-10「教員はわかりやすく説明するように努めていましたか。」だった。他に「教員の熱意や配慮」も係数は高かった。学生が満足する授業とは「やさしく熱意ある教員が、わかりやすく行う」授業に他ならないと結論づけることが可能であり、この点に関しては、本学学生の授業評価における

態度は、きわめて人間的で、教育の本質を理解したものと言えるだろう。また、このことは、自由記述の考察結果とも一致する。

(5) 自由記述から授業改善のヒントを探る

自由記述の設問は、「1. この授業で良いと思う点を教えてください。」「2. この授業の改善点を教えてください。」で構成されており、学生による記述の中には授業手法への言及が多い。ここでは、各授業手法に対する評価の傾向と、それに対する考察を行う。

全体的に見ると、良い点、改善点ともに、昨年までの傾向に大きな変化はない。

授業手法としては、板書・スライド・プリント・映像資料などの追加教材や、グループワーク・小テスト・発表形式などの授業形式、そして教員の熱意や真面目さ、不公平感の解消などが高く評価され、それらの不足や不良が改善点として挙げられている。

良い点については、以前よりも授業内容そのものへの詳細で具体的な言及が増えた印象がある。「良いと思う」での記述が2534件、「改善点」の記述が906件であり、(前述したが)本学学生は授業の「悪いところ」よりも「良いところ」を見る傾向が強いと言えるだろう。

①板書

良い評価としては、「見やすさ」、「色使いや字の美しさ」、「授業内容に対する網羅性」、「消すタイミングの適切さ」などへの言及が多い。同じ教員の板書に対して、学生の意見が「網羅的で良い」と「書き込みすぎる」と別れる場合も継続している。また、スライドなど他の手法との併用を「良い」としている評価も昨年より増えた。

悪い評価としては、「字の汚さ」、「書き方の乱雑さ」、「内容の少なさ」を指摘する意見があるとともに、「板書をしない」ことそのものへの指摘もあった。良い評価同様、他の手法との併用に問題ありとする意見も見られた。9月29日の学生とのFD研修会においても、板書については不満が出された。「無計画に板書する」「自分で書いた文字の前に立って授業する」などが具体例として出されていた。板書は良い評価につながるものであるが、質の低い板書は学生の授業に対するストレスに直結する可能性が高い。

②スライド（パワーポイント含む）の使用

スライド・パワーポイントへの言及は、自由記述の中で最も多かった。良い評価は主に2種に分かれる。一つは「学びやすさ」への貢献である。要点の強調や、展開の明確さなど、板書には無いメリットを挙げる意見があった。一方で、板書や配布資料との併用を評価する意見もあった。もう一つは「意欲や興味の増加」である。特に、美術や歴史などの、文章ではイメージが困難な事物を授業内で取り扱う科目の評価において、「事前の図や写真の提示が興味を促進した」という意見があった。

スライドに対する評価は、その利用が増えた分、不満点も多くあげられるようになった。その中で最も多いのは、例年と同じく「切り替えが早すぎる」というものだった。スライドのみで授業が進行し、且つその進行が早い場合、それを補助するプリントなどが無いと、単に板書している状態より評価を下げる可能性があることが示されている。

パワーポイントを単なるスライド状態で提示するのではなく、パワーポイントのペン機能などを活用すれば、より評価と学習効果の高い授業につながる可能性もある。

板書が持つ「要点を再構成してノートにまとめる」という効果も活かすとすれば、スライド

は基本的な事項をそのプリントアウトと共に提示し、より踏み込んだ内容をペン機能などで板書のように提示する、という方法も考えられるだろう。利用する教員も増え、学生の賛否が最も多いことを考えると、今後、パワーポイントのみに絞った研究（勉強）会などを行うことも必要だろう。

③配布資料

配布資料に関する学生の認識は、独立した資料の場合もあれば、スライドを印刷したものの場合もある。配布資料の内容も、参考資料的もの、テキストの代用的もの、小テストなど、ばらつきが大きいと、良い評価もその理由が多岐にわたっている。しかし、プリントの配布そのものを評価する意見は多く、悪い評価として（それが上記のどの内容を指しているかは不明だが）「プリントが欲しい」というものもあった。

一方で、プリントを配布していても、「プリントが分かりにくい」「内容がすかすか」「授業の進行に合っていない」など、特定の科目で悪い評価が多くあった。本当に「授業の進行に合っていない」プリントを教員が配布したとすれば、これはもはや配布資料に関する問題ではないだろう。他には、プリントの配り方や、人数に対する枚数の不足などを指摘する意見もあった。

学生は、より分かりやすく親切で、興味を促進してくれる手法に高い評価を行う傾向が強い。配布資料もパワーポイントなどと同様、全体的には学生の満足度に直結する手法である。配布資料の場合、学生は復習のしやすさを利点として挙げる事が多く、スライドとはまた異なる利点を感じている。一方で、配布資料の分かりやすさの質が低い場合や、配布に不手際があると、不要な不満につながる可能性が高いこともわかる。

④映像資料

全体的に良い評価が多く、傾向はスライドに対する評価傾向に近い。大半は「興味を持てた」「理解が深まった」「印象に残りやすかった」といったものだった。プリントなどの方法に比べ、より学生の興味を惹く効果は高いようである。悪い評価はほとんど無いが、「映像機器が古い」「映像を止めるタイミングが悪い」といった周辺への不満が幾つかあった。

学生は授業に対して、「わかりやすさ、受け取りの容易さを」好む傾向が年々強まっている。学生の興味を効果的に惹くことは重要で、「映像を起点とする事で、理解が深まった」という意見が多かったことも、それを表しているだろう。

一方、文書や図画による方法にくらべ、映像資料は情報の密度が低いため、映像資料でなければならない用途や、興味の促進という目的に絞って使わなければ、授業意図や内容が薄くなる恐れもある。プリントやプレゼンテーションに比べて、教員による自主制作が難しい媒体であるため、適切な教材を探し出す必要がある点も、他の手法と大きく異なるだろう。

⑤小テスト

小テストは、復習や自身の習熟度確認、学習意欲の維持などを理由に、評価する意見が多かった。特に復習としての効果を挙げる声が目立ち、確実な学習の実感につながっている。各回のはじまりに行う小テスト授業などでは、前回の復習となる点が評価される。また一定の期間ごとに復習となる小テストを行うことで、学習内容の定着や、次回の授業への興味が維持される。小テストの回数が多い、またはテストそのものが難しいといった評価はあったが、悪い評価自体は少ない。テストという形態をとることで、学生は、自主的な復習に自然と集中できると考えているようである。また、毎回の授業の始まりで行う小テストは、授業本体への理解や

興味を深める役割も大きい。授業内容によって違いはあるが、悪い評価は少なく、(4)－④で考察した授業時間外の学習の改善に、小テストが貢献する可能性は高いものと思われる。

⑥学生によるプレゼンテーション

アクティヴ・ラーニングをはじめとし、発信型の授業が求められる現状、学生が授業内で発表する機会も増えている。そのため、自由記述で、「学生によるプレゼンテーション」に関するものも年々増えている。

プレゼンテーションは、実施日を決めて準備をさせてから行う本格的なプレゼンテーションと、授業中に随時発表を求めるものと、2種類がある。どちらの場合も概ね良い評価だが、特に、前者の形態の評価が高い。また、「プレゼンテーションの練習になった」「調べて発表という、社会で求められるものの練習になった」といった、訓練的な側面を評価する声が多いのも特徴である。

悪い評価としては、発表の回数や時間配分への言及があげられていた。

小テストと同じく、学生に適度な課題を課すことで、自主的な習熟の深まりを促す効果が期待できる。学生の「考える事を促してくれる」を好む傾向が見て取れる。一方で、準備期間の不足やツールの不備などが感じられる授業では、受講学生によっては、ただ「負担の増加」と認識している場合もあるようだ。

⑦グループディスカッション

⑥のプレゼンテーションと同様、グループディスカッションは昨今の授業のトレンドだが、これも良い評価が多い。「他の学生の意見を聞ける」、「考えが醸成される」、「団結を実感できる」といった意見があがり、意見交換の機会そのものを良いとする評価もあった。グループディスカッションによって、「苦手だった発言が少しはできるようになった」という意見もあった。団結の実感が授業内容の理解につながるかどうかは不明だが、積極的に授業に取り組む雰囲気作りをディスカッションが果たしていることは間違いないだろう。

悪い評価としては、「意見のまとまりがなく進まない」といった、グループをうまく機能させられていない点への指摘があった。ファシリテーターとしての教員が機能不全に陥っていたことを示す意見であろう。グループディスカッションをする場合であっても、通常の講義や演習と同じ、もしくはそれ以上の準備やシミュレーションを教員が行う必要があると思われる。

教員と学生という二者間で進む授業に比べ、学生同士の討議が加わるだけで、「自主性を尊重されている」と学生は感じるようで、それが、グループディスカッションを取り入れた授業の高評価につながっていると言えるだろう。小テストや学生によるプレゼンテーションと同様、学生が「考える事を促される事を好む」傾向もここには見て取れる。グループ運営が効率的に機能する工夫さえあれば、学生の満足度は非常に高いものになるであろう。

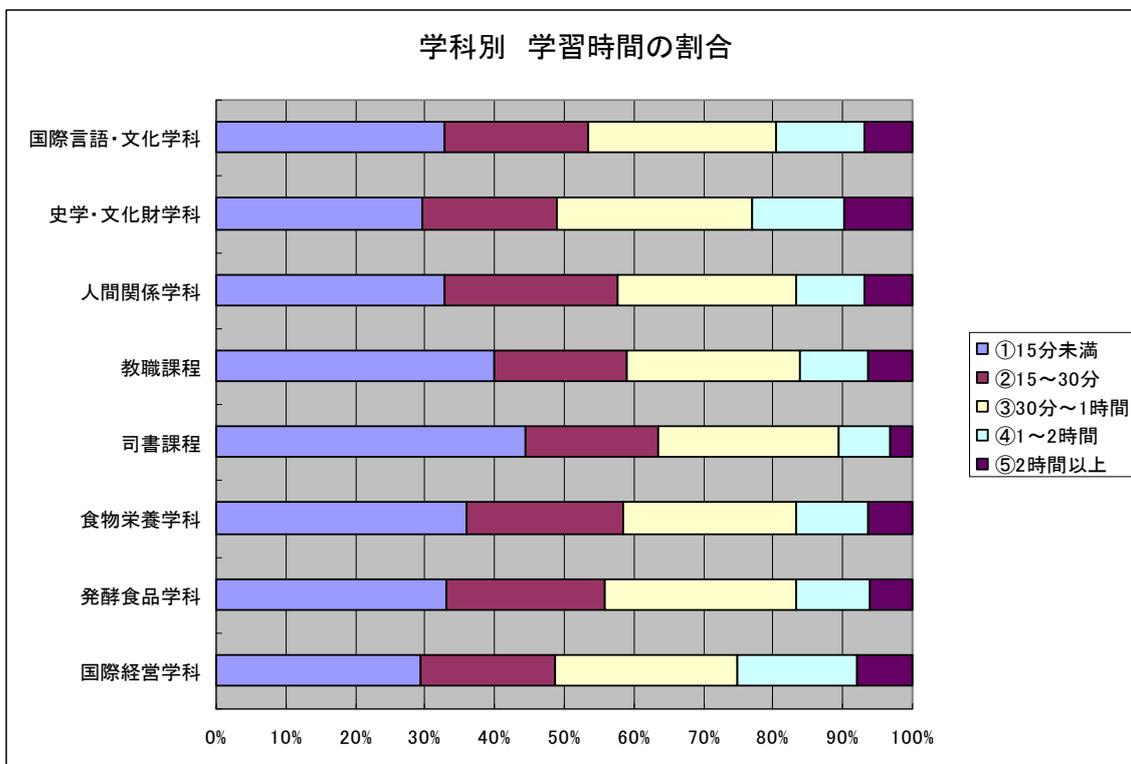
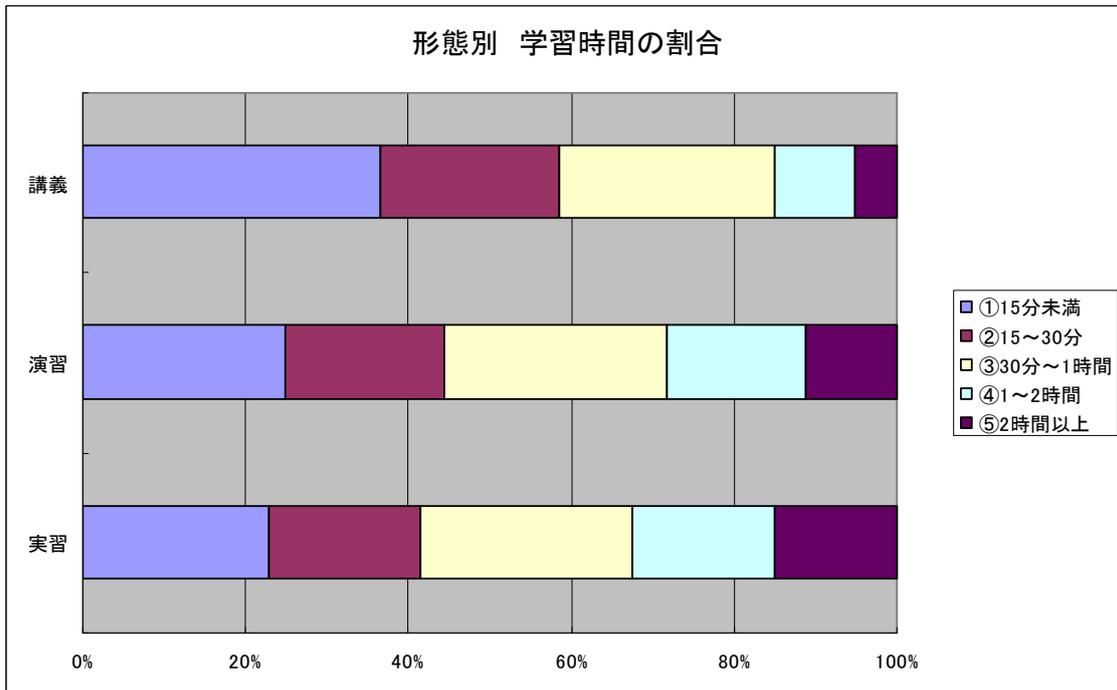
⑧出席確認

出席確認が自由記述として言及される場合、ほぼ全てが悪い評価であり、この傾向は以前から続いている。当然のことだが、受講者が多い授業で不満が多く出されている。大人数の授業にも関わらず、点呼式の確認を行うことで、毎回の授業で15分近くを費やしている場合もあり、「出席カードを使うべき」という意見が多かった。

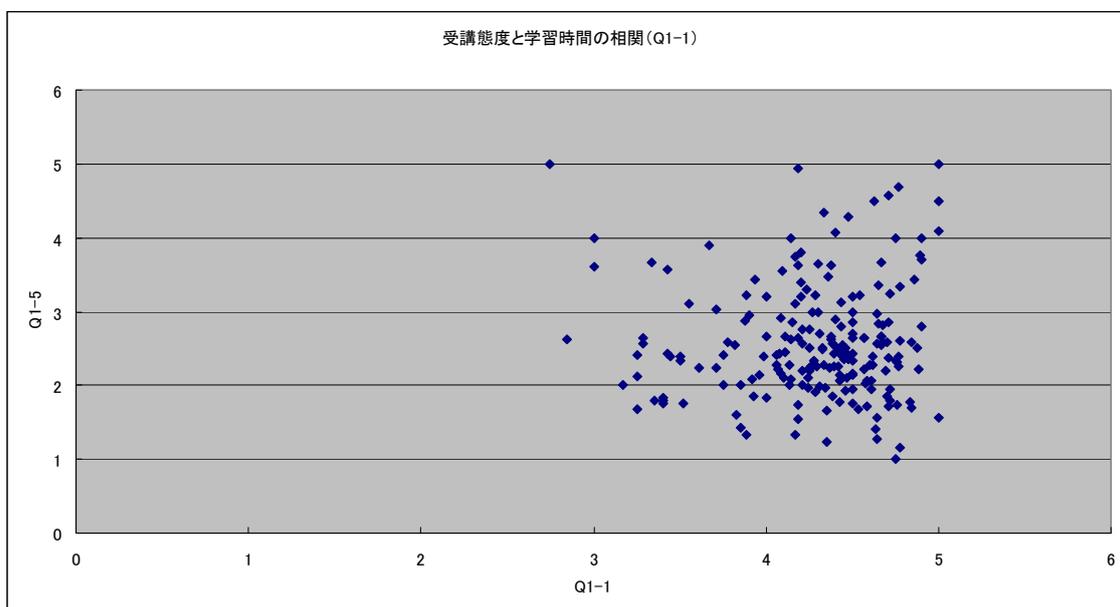
また、確認を行うタイミングについても、あまり遅くに行うのでは、遅刻に甘く不公平であるという意見もあった。他に、出席確認の方法が曖昧で、きちんと把握されているのか不安だ

という意見もあった。

9月29日の学生とのFD研修会においても、授業に対する不満で最も挙げられたのは、出席確認だった。学生は出席の問題に関心が高いようである。長時間の出欠確認には、授業時間の無駄だという意識が強い。遅刻者を出席とする基準の不明瞭さも、不公平感を生んでいる。出席に言及している学生の多くには、「自分は真面目に授業を受けているのに」という意識が感じられる。努力、熱意が認められることを願うのは人の常であろうし、評価されるべきでない人間が評価されると不公平感を感じるのもまた人間だろう。その意味で、出欠確認については、受講者数の多い科目を担当している教員だけでなく、全学的に解決策を議論する必要があるのではなかろうか。

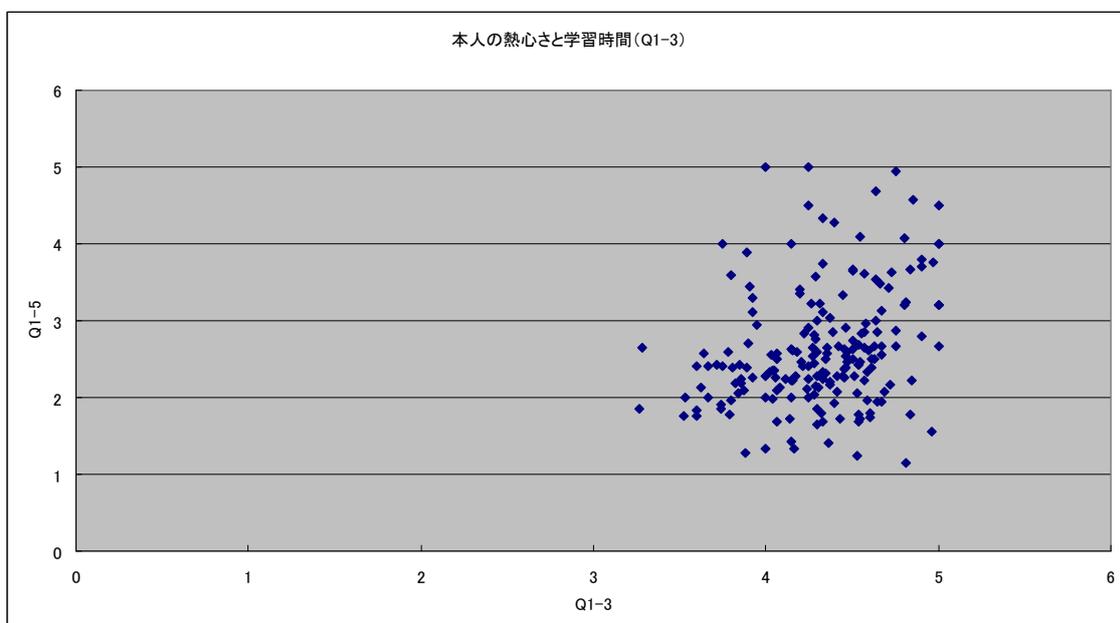


受講態度と学習時間の相関 (Q1-1)



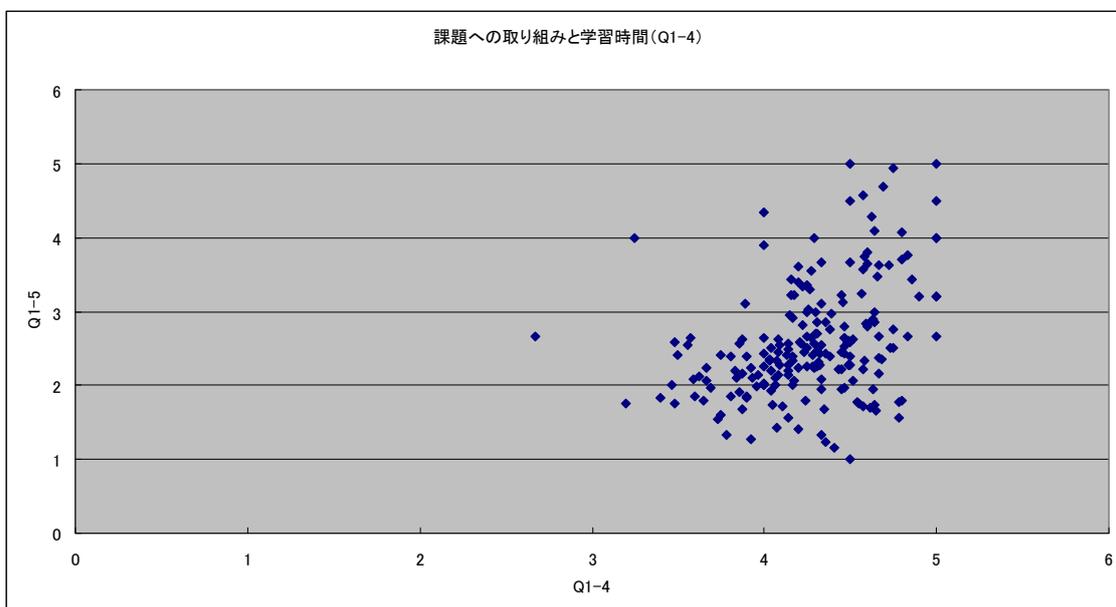
相関係数 : 0.02

本人の熱心さと学習時間 (Q1-3)



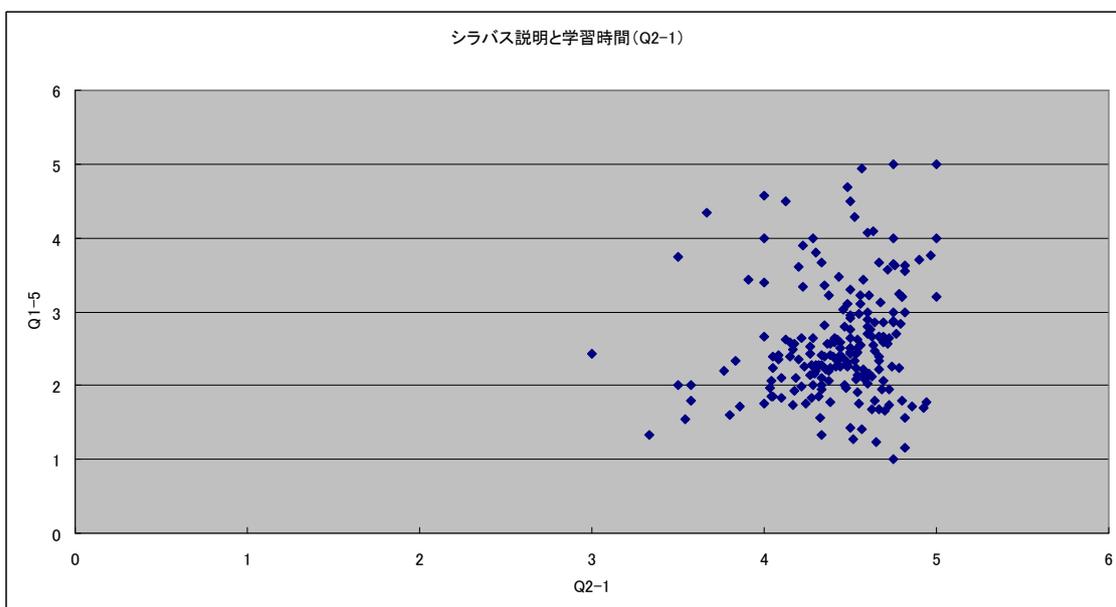
相関係数 : 0.30

課題への取り組みと学習時間 (Q1-4)



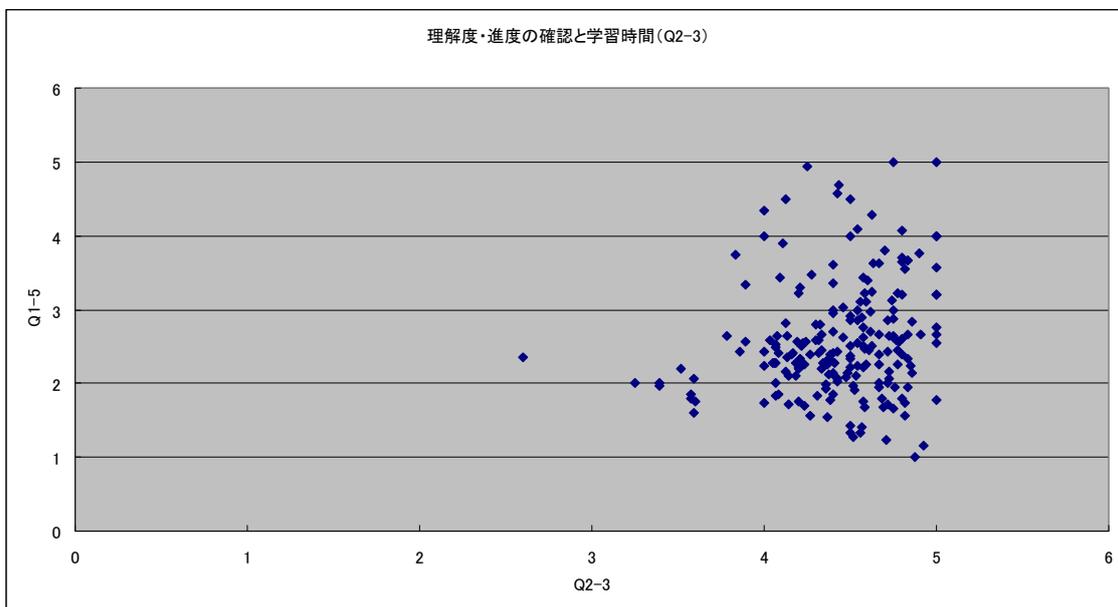
相関係数 : 0.37

シラバス説明と学習時間 (Q2-1)



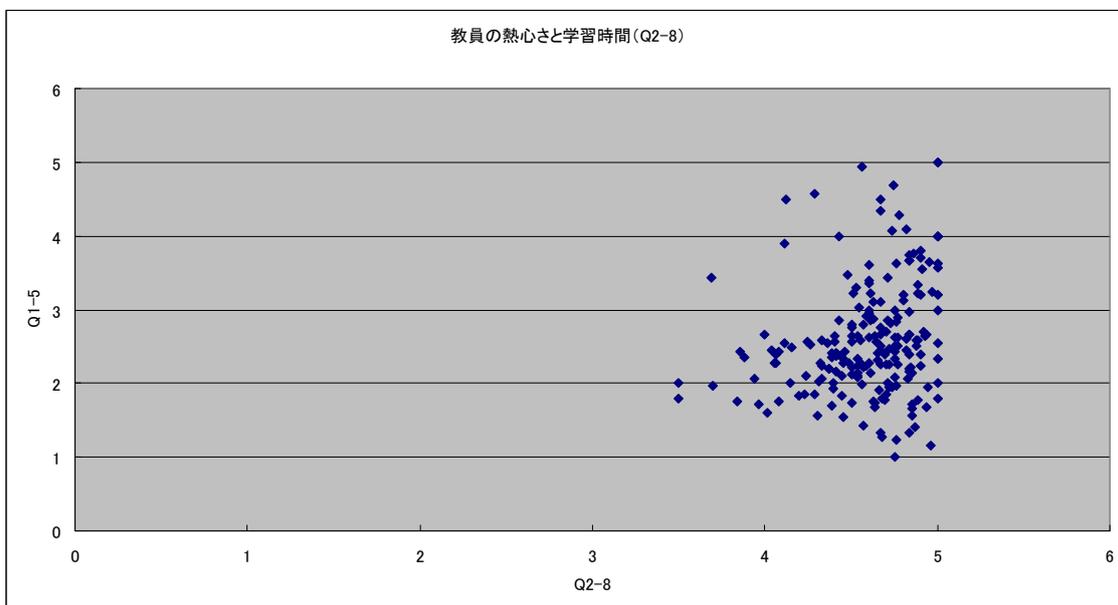
相関係数 : 0.15

理解度・進捗の確認と学習時間 (Q2-3)



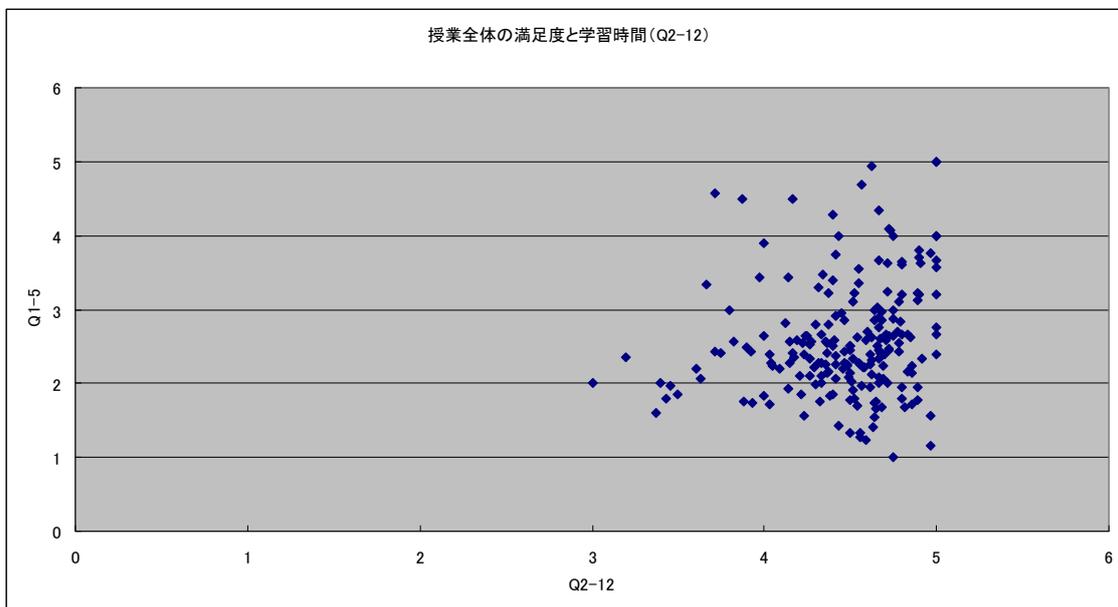
相関係数 : 0.16

教員の熱心さと学習時間 (Q2-8)



相関係数 : 0.22

授業全体の満足度と学習時間 (Q2-12)

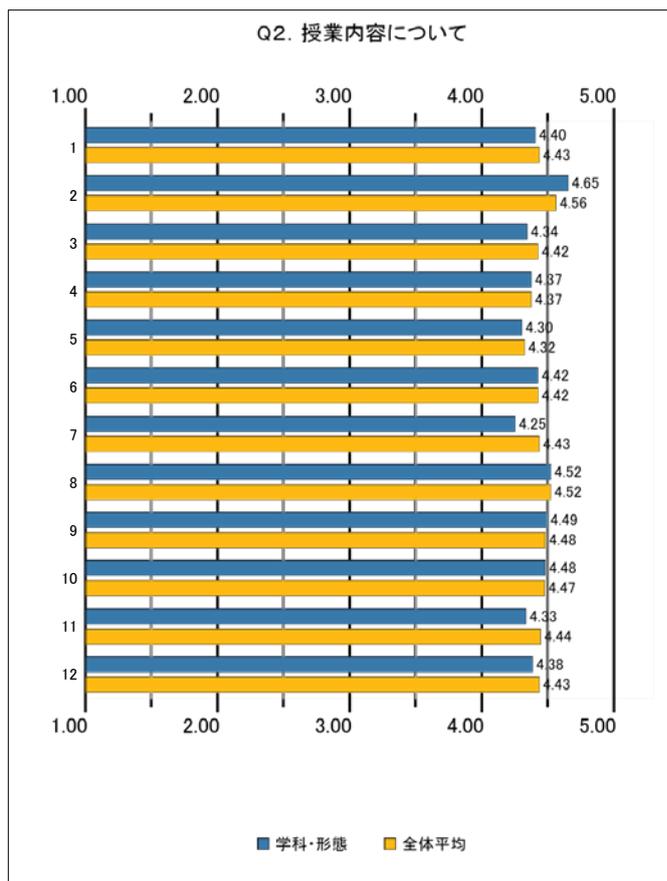
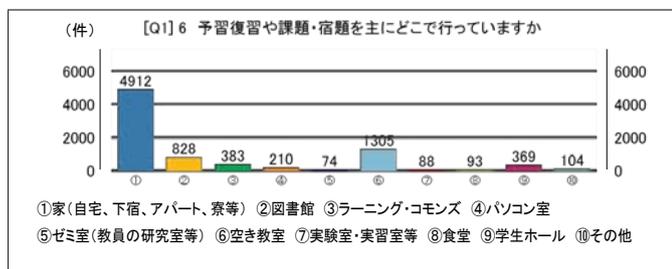
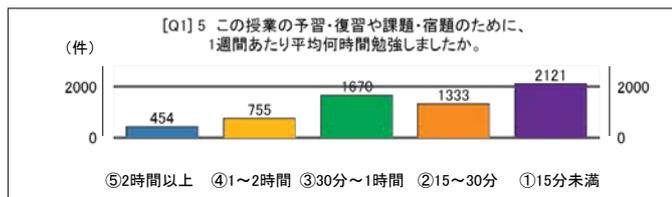
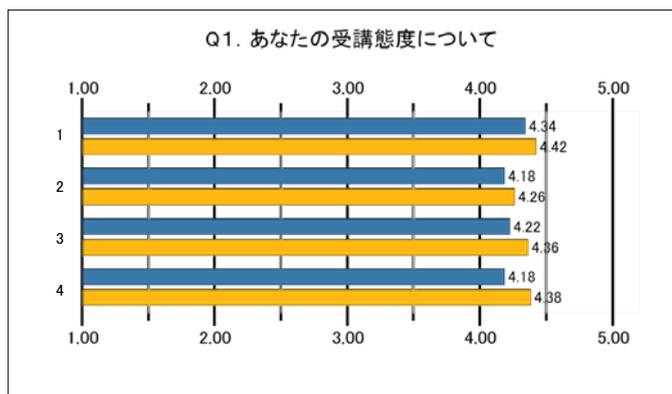


相関係数 : 0.17

2. 大学全体の集計

授業改善のためのアンケート 2018年度

全体

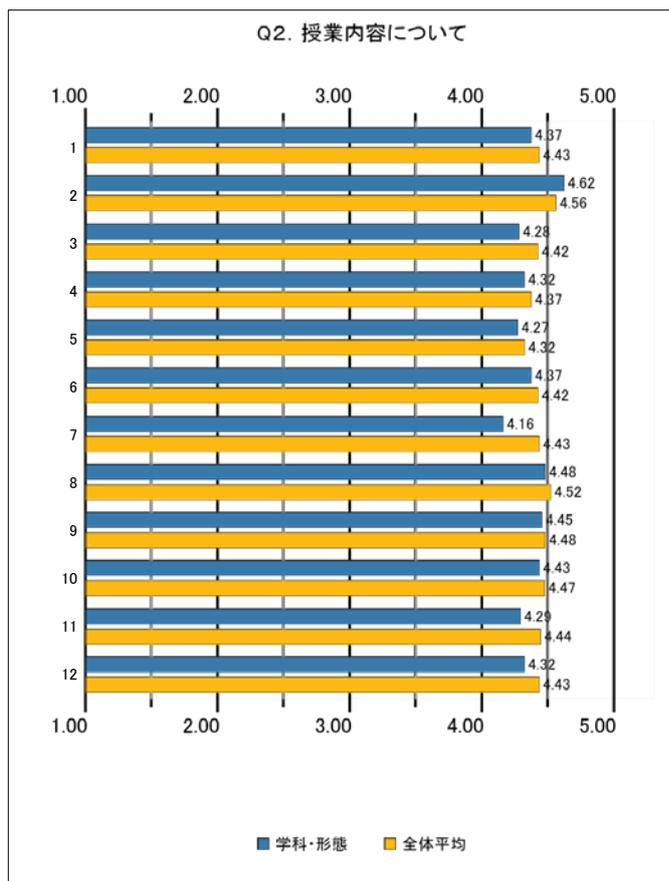
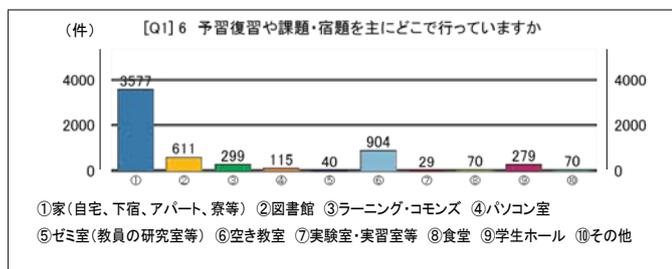
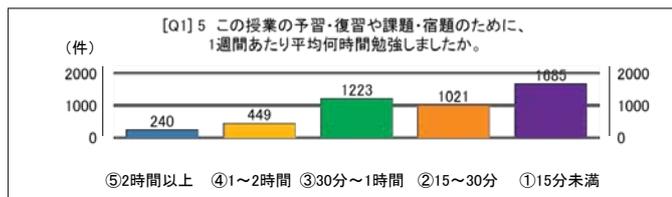
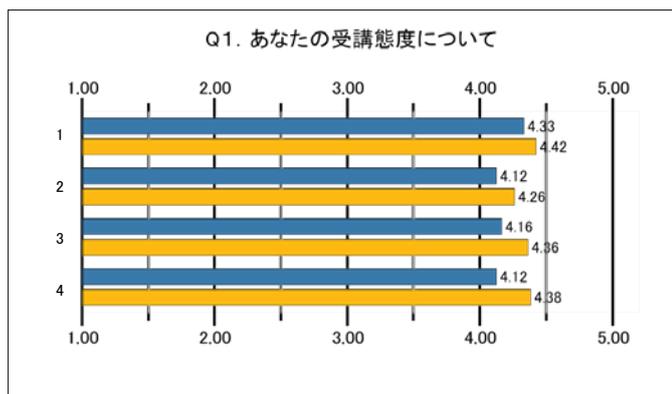


上段:回答者数 / 下段:割合

		5. そう思う	4. どちらかといえばそう思う	3. どちらともいえない	2. どちらかといえばそう思わない	1. そう思わない	学科・形態	全体平均
[Q1] 1	あなたはこの授業を休んだり遅刻しないで受講しましたか。	3784 59.2%	1565 24.5%	571 8.9%	279 4.4%	167 2.6%	4.34	4.34
[Q1] 2	授業中に私語、いねむりや携帯電話の使用等をせず教員の話をよく聴くように努めましたか。	2869 44.9%	2207 34.5%	980 15.3%	215 3.4%	93 1.5%	4.18	4.18
[Q1] 3	あなたはこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか。	2931 45.9%	2220 34.7%	997 15.6%	154 2.4%	55 0.9%	4.22	4.22
[Q1] 4	この授業内容の課題やレポートなどに積極的に取り組んだと思いますか。	2992 46.8%	1925 30.1%	1206 18.9%	140 2.2%	72 1.1%	4.18	4.18
[Q1] 5	この授業の予習・復習や課題・宿題のために、1週間あたり平均何時間勉強しましたか。	454 7.1%	755 11.8%	1670 26.1%	1333 20.9%	2121 33.2%	2.37	2.37
[Q2] 1	この授業でシラバスに示されている授業概要・到達目標は十分に説明されましたか。	3512 55.0%	2045 32.0%	707 11.1%	71 1.1%	26 0.4%	4.40	4.40
[Q2] 2	授業時間は確保されていましたか。	4608 72.1%	1375 21.5%	329 5.1%	36 0.6%	15 0.2%	4.65	4.65
[Q2] 3	学生の理解度や到達度を確認し、授業を進めていましたか。	3467 54.2%	1912 29.9%	764 12.0%	153 2.4%	64 1.0%	4.34	4.34
[Q2] 4	教材(テキスト・配布資料)、教具の利用は適切でわかりやすい授業でしたか。	3645 57.0%	1745 27.3%	716 11.2%	194 3.0%	63 1.0%	4.37	4.37
[Q2] 5	板書の仕方や視聴覚機器による提示は効果的でしたか。	3464 54.2%	1785 27.9%	817 12.8%	201 3.1%	85 1.3%	4.30	4.30
[Q2] 6	教員の話し方は、明瞭で聞き取りやすかったですか。	3896 61.0%	1606 25.1%	610 9.5%	174 2.7%	75 1.2%	4.42	4.42
[Q2] 7	学生が質問したり、意見が述べられるように配慮がなされていましたか。	3361 52.6%	1674 26.2%	1001 15.7%	235 3.7%	91 1.4%	4.25	4.25
[Q2] 8	教員の授業に対する熱意・真剣さが感じられましたか。	4073 63.7%	1681 26.3%	517 8.1%	55 0.9%	36 0.6%	4.52	4.52
[Q2] 9	教員は学びの環境を保つように配慮をしていましたか。	3943 61.7%	1753 27.4%	558 8.7%	79 1.2%	32 0.5%	4.49	4.49
[Q2] 10	教員はわかりやすく説明するように努めていましたか。	4010 62.7%	1663 26.0%	523 8.2%	113 1.8%	51 0.8%	4.48	4.48
[Q2] 11	この授業でシラバスに示されている到達目標が達成できましたか。	3302 51.7%	2017 31.6%	936 14.6%	74 1.2%	34 0.5%	4.33	4.33
[Q2] 12	この授業は充実していて、満足できるものでしたか。	3641 57.0%	1802 28.2%	712 11.1%	135 2.1%	73 1.1%	4.38	4.38

授業改善のためのアンケート 2018年度

全体 講義

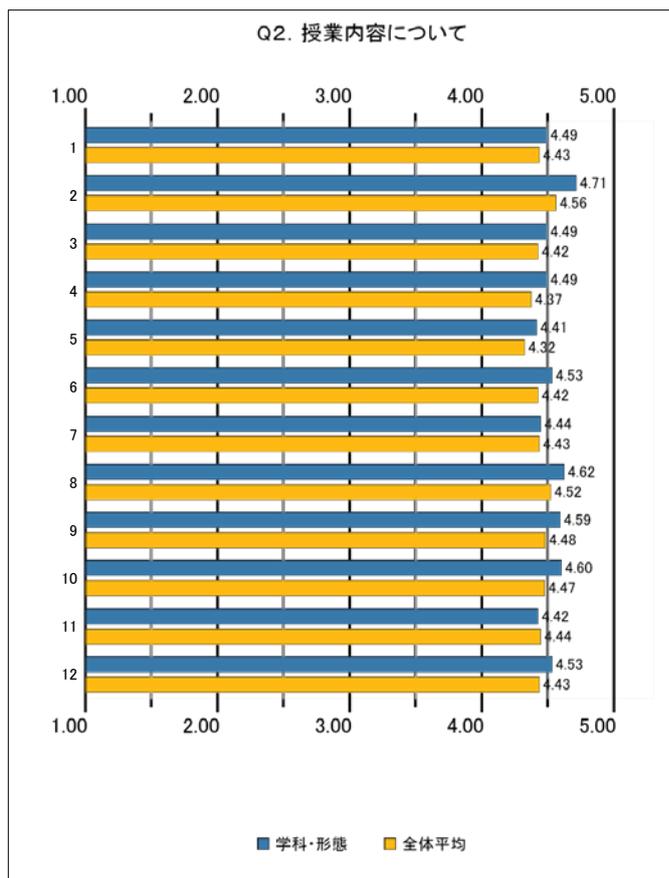
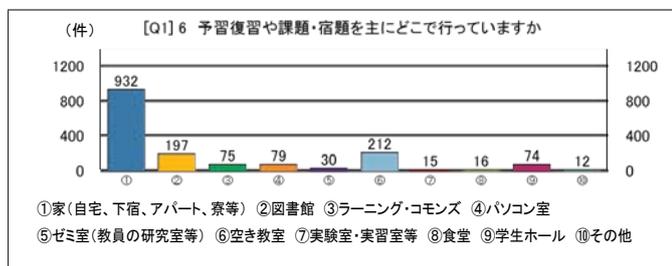
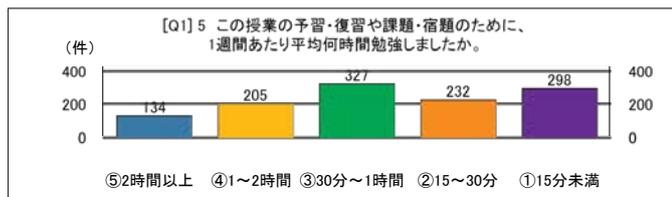
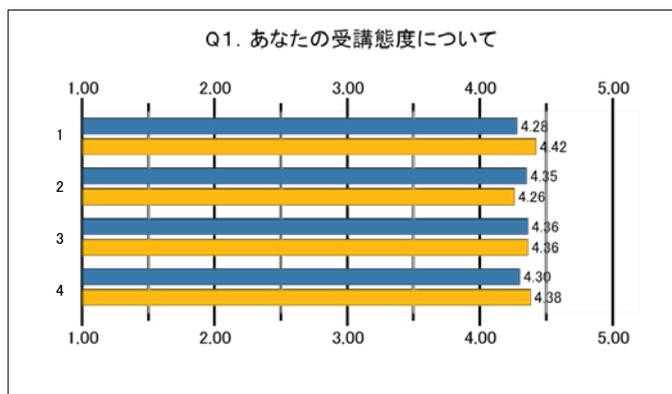


上段:回答者数 / 下段:割合

		5. そう思う	4. どちらかといえばそう思う	3. どちらともいえない	2. どちらかといえばそう思わない	1. そう思わない	学科・形態	全体平均
[Q1] 1	あなたはこの授業を休んだり遅刻しないで受講しましたか。	2720 58.4%	1167 25.1%	427 9.2%	206 4.4%	119 2.6%	4.33	4.34
[Q1] 2	授業中に私語、いねむりや携帯電話の使用等をせず教員の話をよく聴くように努めましたか。	1922 41.3%	1676 36.0%	780 16.7%	185 4.0%	76 1.6%	4.12	4.18
[Q1] 3	あなたはこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか。	1976 42.4%	1657 35.6%	825 17.7%	131 2.8%	45 1.0%	4.16	4.22
[Q1] 4	この授業内容の課題やレポートなどに積極的に取り組んだと思いますか。	2039 43.8%	1425 30.6%	978 21.0%	117 2.5%	62 1.3%	4.12	4.18
[Q1] 5	この授業の予習・復習や課題・宿題のために、1週間あたり平均何時間勉強しましたか。	(2時間以上) 240 5.2%	(1～2時間) 449 9.6%	(30分～1時間) 1223 26.3%	(15～30分) 1021 21.9%	(15分未満) 1685 36.2%	2.24	2.37
[Q2] 1	この授業でシラバスに示されている授業概要・到達目標は十分に説明されましたか。	2452 52.6%	1553 33.3%	550 11.8%	59 1.3%	21 0.5%	4.37	4.40
[Q2] 2	授業時間は確保されていましたか。	3269 70.2%	1053 22.6%	271 5.8%	33 0.7%	10 0.2%	4.62	4.65
[Q2] 3	学生の理解度や到達度を確認し、授業を進めていましたか。	2375 51.0%	1451 31.2%	621 13.3%	136 2.9%	53 1.1%	4.28	4.34
[Q2] 4	教材(テキスト・配布資料)、教具の利用は適切でわかりやすい授業でしたか。	2547 54.7%	1311 28.1%	563 12.1%	167 3.6%	51 1.1%	4.32	4.37
[Q2] 5	板書の仕方や視聴覚機器による提示は効果的でしたか。	2449 52.6%	1328 28.5%	620 13.3%	162 3.5%	72 1.5%	4.27	4.30
[Q2] 6	教員の話し方は、明瞭で聞き取りやすかったですか。	2710 58.2%	1206 25.9%	511 11.0%	146 3.1%	63 1.4%	4.37	4.42
[Q2] 7	学生が質問したり、意見が述べられるように配慮がなされていましたか。	2270 48.7%	1239 26.6%	837 18.0%	214 4.6%	77 1.7%	4.16	4.25
[Q2] 8	教員の授業に対する熱意・真剣さが感じられましたか。	2850 61.2%	1282 27.5%	430 9.2%	47 1.0%	28 0.6%	4.48	4.52
[Q2] 9	教員は学びの環境を保つように配慮をしていましたか。	2744 58.9%	1340 28.8%	465 10.0%	67 1.4%	23 0.5%	4.45	4.49
[Q2] 10	教員はわかりやすく説明するように努めていましたか。	2780 59.7%	1278 27.4%	437 9.4%	97 2.1%	44 0.9%	4.43	4.48
[Q2] 11	この授業でシラバスに示されている到達目標が達成できましたか。	2311 49.6%	1498 32.2%	739 15.9%	62 1.3%	27 0.6%	4.29	4.33
[Q2] 12	この授業は充実していて、満足できるものでしたか。	2496 53.6%	1383 29.7%	583 12.5%	115 2.5%	60 1.3%	4.32	4.38

授業改善のためのアンケート 2018年度

全体 演習

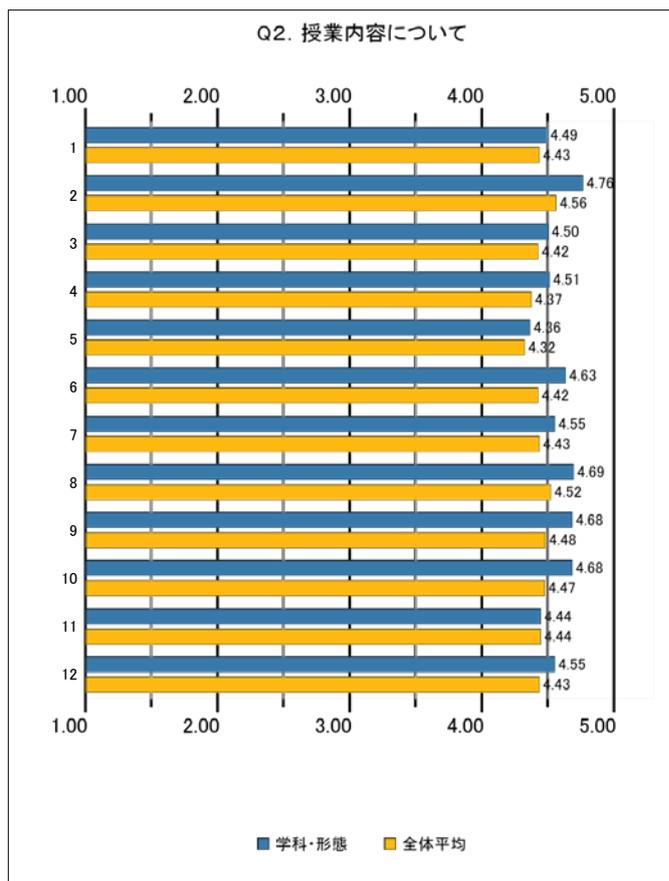
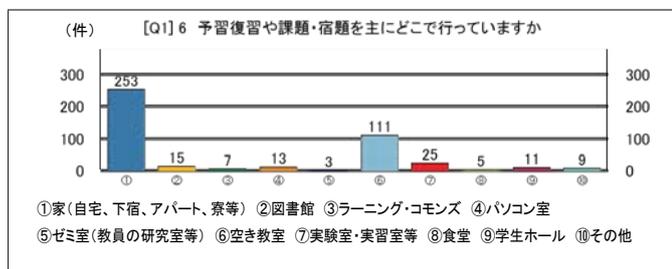
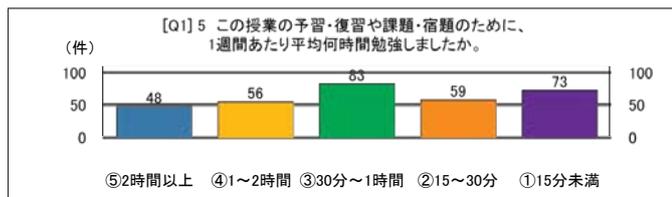
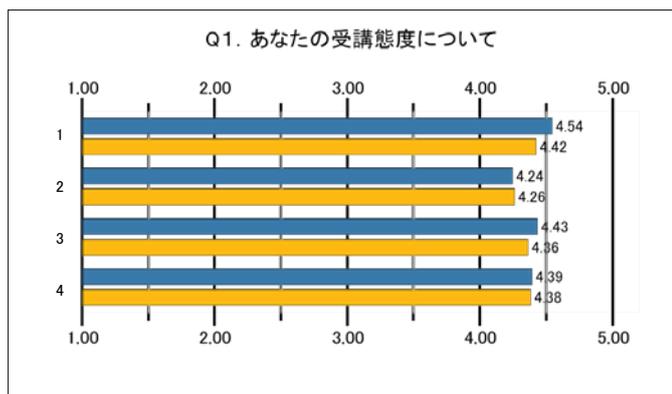


上段:回答者数 / 下段:割合

		5. そう思う	4. どちらかといえばそう思う	3. どちらともいえない	2. どちらかといえばそう思わない	1. そう思わない	学科・形態	全体平均
[Q1] 1	あなたはこの授業を休んだり遅刻しないで受講しましたか。	695 57.7%	297 24.6%	107 8.9%	65 5.4%	39 3.2%	4.28	4.34
[Q1] 2	授業中に私語、いねむりや携帯電話の使用等をせず教員の話をよく聴くように努めましたか。	651 54.0%	384 31.9%	129 10.7%	23 1.9%	15 1.2%	4.35	4.18
[Q1] 3	あなたはこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか。	636 52.8%	412 34.2%	124 10.3%	20 1.7%	8 0.7%	4.36	4.22
[Q1] 4	この授業内容の課題やレポートなどに積極的に取り組んだと思いますか。	629 52.2%	365 30.3%	172 14.3%	19 1.6%	8 0.7%	4.30	4.18
[Q1] 5	この授業の予習・復習や課題・宿題のために、1週間あたり平均何時間勉強しましたか。	(2時間以上) 134 11.1%	(1～2時間) 205 17.0%	(30分～1時間) 327 27.1%	(15～30分) 232 19.3%	(15分未満) 298 24.7%	2.69	2.37
[Q2] 1	この授業でシラバスに示されている授業概要・到達目標は十分に説明されましたか。	732 60.7%	345 28.6%	110 9.1%	11 0.9%	5 0.4%	4.49	4.40
[Q2] 2	授業時間は確保されていましたか。	925 76.8%	224 18.6%	46 3.8%	3 0.2%	5 0.4%	4.71	4.65
[Q2] 3	学生の理解度や到達度を確認し、授業を進めていましたか。	755 62.7%	322 26.7%	101 8.4%	13 1.1%	10 0.8%	4.49	4.34
[Q2] 4	教材(テキスト・配布資料)、教具の利用は適切でわかりやすい授業でしたか。	771 64.0%	293 24.3%	108 9.0%	19 1.6%	11 0.9%	4.49	4.37
[Q2] 5	板書の仕方や視聴覚機器による提示は効果的でしたか。	715 59.3%	317 26.3%	133 11.0%	29 2.4%	8 0.7%	4.41	4.30
[Q2] 6	教員の話し方は、明瞭で聞き取りやすかったですか。	807 67.0%	283 23.5%	73 6.1%	26 2.2%	12 1.0%	4.53	4.42
[Q2] 7	学生が質問したり、意見が述べられるように配慮がなされていましたか。	742 61.6%	302 25.1%	127 10.5%	17 1.4%	13 1.1%	4.44	4.25
[Q2] 8	教員の授業に対する熱意・真剣さを感じられましたか。	846 70.2%	281 23.3%	59 4.9%	7 0.6%	8 0.7%	4.62	4.52
[Q2] 9	教員は学びの環境を保つように配慮をしていましたか。	819 68.0%	299 24.8%	66 5.5%	9 0.7%	9 0.7%	4.59	4.49
[Q2] 10	教員はわかりやすく説明するように努めていましたか。	848 70.4%	269 22.3%	64 5.3%	12 1.0%	7 0.6%	4.60	4.48
[Q2] 11	この授業でシラバスに示されている到達目標が達成できましたか。	691 57.3%	356 29.5%	138 11.5%	11 0.9%	6 0.5%	4.42	4.33
[Q2] 12	この授業は充実していて、満足できるものでしたか。	800 66.4%	286 23.7%	90 7.5%	15 1.2%	11 0.9%	4.53	4.38

授業改善のためのアンケート 2018年度

全体 実習



上段:回答者数 / 下段:割合

		5. そう思う	4. どちらかといえばそう思う	3. どちらともいえない	2. どちらかといえばそう思わない	1. そう思わない	学科・形態	全体平均
[Q1] 1	あなたはこの授業を休んだり遅刻しないで受講しましたか。	220 68.1%	71 22.0%	19 5.9%	4 1.2%	7 2.2%	4.54	4.34
[Q1] 2	授業中に私語、いねむりや携帯電話の使用等をせず教員の話をよく聴くように努めましたか。	154 47.7%	102 31.6%	57 17.6%	5 1.5%	2 0.6%	4.24	4.18
[Q1] 3	あなたはこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか。	183 56.7%	100 31.0%	33 10.2%	3 0.9%	2 0.6%	4.43	4.22
[Q1] 4	この授業内容の課題やレポートなどに積極的に取り組んだと思いますか。	187 57.9%	86 26.6%	41 12.7%	3 0.9%	2 0.6%	4.39	4.18
[Q1] 5	この授業の予習・復習や課題・宿題のために、1週間あたり平均何時間勉強しましたか。	(2時間以上) 48 14.9%	(1~2時間) 56 17.3%	(30分~1時間) 83 25.7%	(15~30分) 59 18.3%	(15分未満) 73 22.6%	2.82	2.37
[Q2] 1	この授業でシラバスに示されている授業概要・到達目標は十分に説明されましたか。	195 60.4%	92 28.5%	32 9.9%	1 0.3%	0 0.0%	4.49	4.40
[Q2] 2	授業時間は確保されていましたか。	248 76.8%	69 21.4%	4 1.2%	0 0.0%	0 0.0%	4.76	4.65
[Q2] 3	学生の理解度や到達度を確認し、授業を進めていましたか。	196 60.7%	98 30.3%	23 7.1%	2 0.6%	1 0.3%	4.50	4.34
[Q2] 4	教材(テキスト・配布資料)、教具の利用は適切でわかりやすい授業でしたか。	199 61.6%	93 28.8%	23 7.1%	5 1.5%	1 0.3%	4.51	4.37
[Q2] 5	板書の仕方や視聴覚機器による提示は効果的でしたか。	181 56.0%	94 29.1%	34 10.5%	7 2.2%	4 1.2%	4.36	4.30
[Q2] 6	教員の話し方は、明瞭で聞き取りやすかったですか。	221 68.4%	83 25.7%	15 4.6%	2 0.6%	0 0.0%	4.63	4.42
[Q2] 7	学生が質問したり、意見が述べられるように配慮がなされていましたか。	205 63.5%	93 28.8%	20 6.2%	2 0.6%	1 0.3%	4.55	4.25
[Q2] 8	教員の授業に対する熱意・真剣さが感じられましたか。	232 71.8%	80 24.8%	9 2.8%	0 0.0%	0 0.0%	4.69	4.52
[Q2] 9	教員は学びの環境を保つように配慮をしていましたか。	233 72.1%	74 22.9%	12 3.7%	2 0.6%	0 0.0%	4.68	4.49
[Q2] 10	教員はわかりやすく説明するように努めていましたか。	232 71.8%	77 23.8%	9 2.8%	3 0.9%	0 0.0%	4.68	4.48
[Q2] 11	この授業でシラバスに示されている到達目標が達成できましたか。	181 56.0%	103 31.9%	36 11.1%	0 0.0%	1 0.3%	4.44	4.33
[Q2] 12	この授業は充実していて、満足できるものでしたか。	211 65.3%	83 25.7%	22 6.8%	4 1.2%	1 0.3%	4.55	4.38

学生による授業評価アンケート2018 教員所属学科別平均点一覧

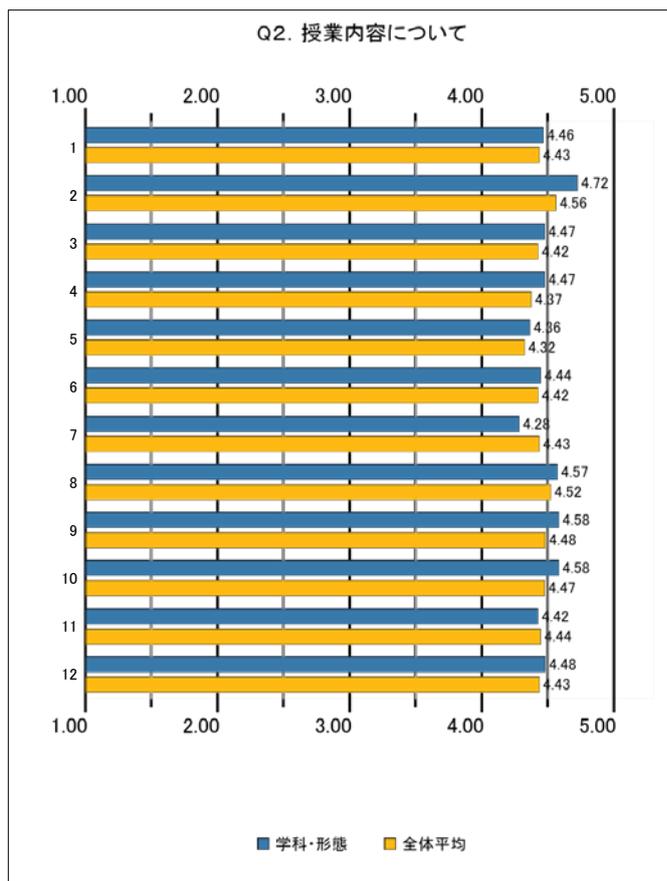
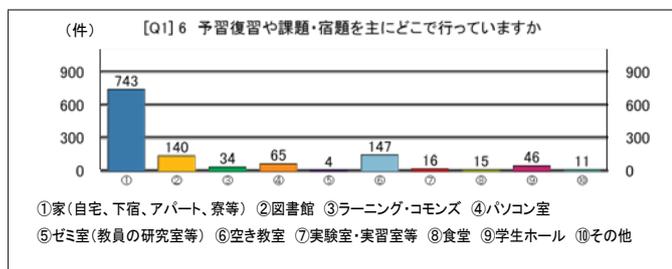
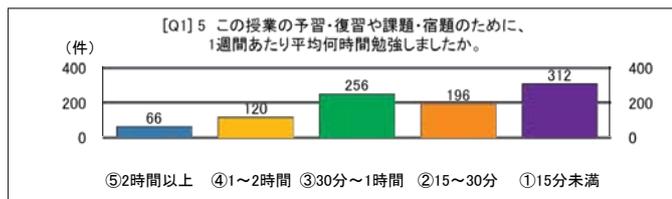
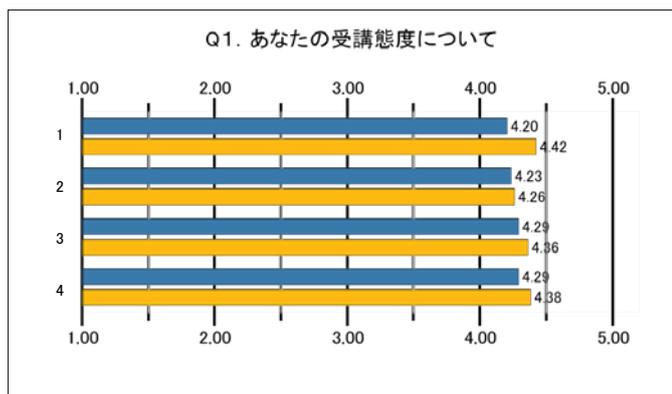
学科	科目数	回答枚数	学生の自己評価 [Q1]				授業の評価 [Q2]																	
			1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12						
国際言語・文化学科	49	968	あなたはこの授業を休んだり遅刻しないで受講しましたか。	授業中に私語、いねむりや携帯電話の使用等をせず教員の話をよく聴くように努めましたか。	あなたはこの授業に意欲的に取り組んでいますか。	この授業内容やレポートなどに積極的に取り組んでいますか。	4.20	4.23	4.29	4.29	4.29	4.12	4.46	4.72	4.47	4.47	4.36	4.44	4.28	4.57	4.58	4.58	4.42	4.48
史学・文化財学科	30	1140					4.31	4.18	4.19	4.14	4.14	4.44	4.68	4.32	4.32	4.33	4.33	4.49	4.29	4.58	4.51	4.49	4.34	4.41
人間関係学科	23	697					4.36	4.15	4.15	4.12	4.12	4.33	4.62	4.31	4.31	4.22	4.22	4.43	4.25	4.50	4.45	4.45	4.24	4.34
教職課程	8	504					4.46	4.61	4.55	4.32	4.32	4.44	4.65	4.48	4.48	4.43	4.43	4.50	4.39	4.54	4.57	4.55	4.42	4.50
司書課程	8	292					4.12	3.92	3.96	3.95	3.95	4.18	4.41	4.07	4.07	4.07	4.07	4.15	3.80	4.25	4.23	4.18	4.05	4.01
食物栄養学科	33	1419					4.56	4.19	4.26	4.25	4.25	4.39	4.69	4.29	4.29	4.26	4.26	4.42	4.26	4.53	4.49	4.48	4.32	4.33
発酵食品学科	17	386					4.07	3.88	3.97	3.90	3.90	4.34	4.60	4.28	4.28	4.19	4.19	4.31	4.14	4.38	4.36	4.34	4.25	4.28
国際経営学科	35	985					4.29	4.14	4.20	4.18	4.18	4.43	4.61	4.37	4.37	4.38	4.38	4.41	4.28	4.52	4.50	4.52	4.38	4.44
全体	203	6339					4.34	4.18	4.22	4.18	4.18	4.40	4.65	4.34	4.34	4.30	4.30	4.42	4.25	4.52	4.49	4.48	4.33	4.38

(注)アンケート調査は全専任教員と一部の非常勤講師を対象に行われたが、上記は基本的に専任教員のみを対象とした数値となっている。但し、「全体」行のみは非常勤講師を含む全調査対象者を対象とした数値を表している。

3. 各学科別集計

授業改善のためのアンケート 2018年度

国際言語・文化学科

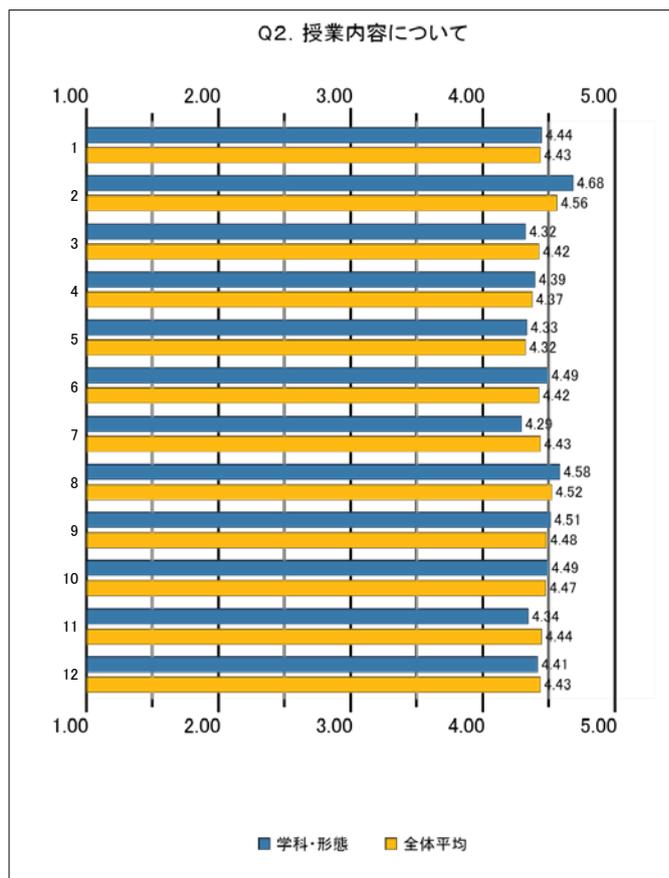
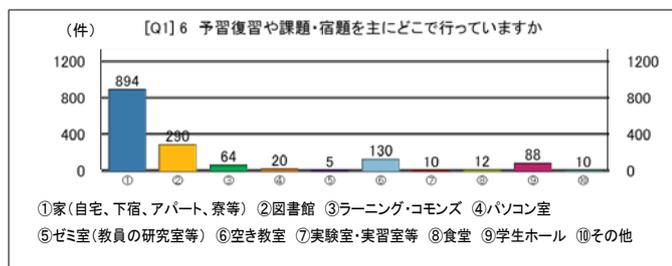
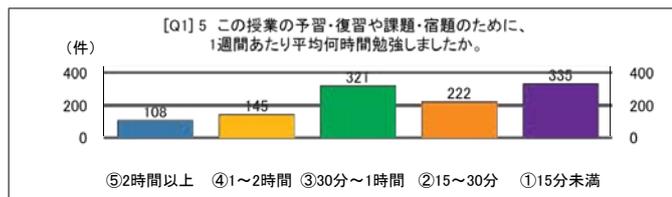
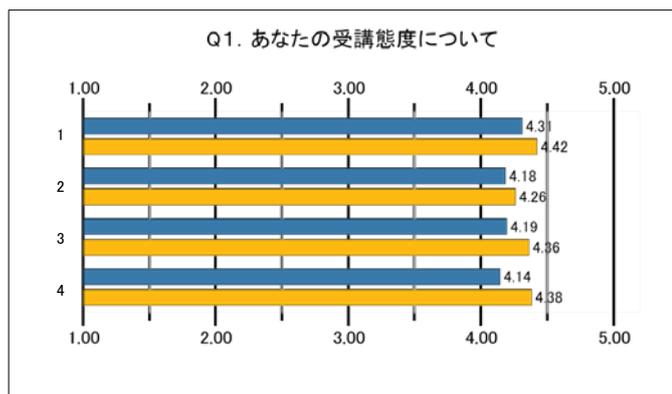


上段: 回答者数 / 下段: 割合

		5. そう思う	4. どちらかといえばそう思う	3. どちらともいえない	2. どちらかといえばそう思わない	1. そう思わない	学科・形態	全体平均
[Q1] 1	あなたはこの授業を休んだり遅刻しないで受講しましたか。	520 53.7%	234 24.2%	114 11.8%	52 5.4%	37 3.8%	4.20	4.34
[Q1] 2	授業中に私語、いねむりや携帯電話の使用等をせず教員の話をよく聴くように努めましたか。	475 49.1%	295 30.5%	140 14.5%	30 3.1%	18 1.9%	4.23	4.18
[Q1] 3	あなたはこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか。	472 48.8%	335 34.6%	121 12.5%	19 2.0%	11 1.1%	4.29	4.22
[Q1] 4	この授業内容の課題やレポートなどに積極的に取り組んだと思いますか。	487 50.3%	306 31.6%	139 14.4%	14 1.4%	4 0.4%	4.29	4.18
[Q1] 5	この授業の予習・復習や課題・宿題のために、1週間あたり平均何時間勉強しましたか。	66 6.8%	120 12.4%	256 26.4%	196 20.2%	312 32.2%	2.38	2.37
[Q2] 1	この授業でシラバスに示されている授業概要・到達目標は十分に説明されましたか。	574 59.3%	275 28.4%	97 10.0%	7 0.7%	2 0.2%	4.46	4.40
[Q2] 2	授業時間は確保されていましたか。	743 76.8%	172 17.8%	38 3.9%	4 0.4%	1 0.1%	4.72	4.65
[Q2] 3	学生の理解度や到達度を確認し、授業を進めていましたか。	576 59.5%	281 29.0%	81 8.4%	15 1.5%	5 0.5%	4.47	4.34
[Q2] 4	教材(テキスト・配布資料)、教具の利用は適切でわかりやすい授業でしたか。	612 63.2%	228 23.6%	89 9.2%	20 2.1%	6 0.6%	4.47	4.37
[Q2] 5	板書の仕方や視覚機器による提示は効果的でしたか。	564 58.3%	240 24.8%	113 11.7%	25 2.6%	10 1.0%	4.36	4.30
[Q2] 6	教員の話し方は、明瞭で聞き取りやすかったですか。	590 61.0%	246 25.4%	84 8.7%	30 3.1%	8 0.8%	4.44	4.42
[Q2] 7	学生が質問したり、意見が述べられるように配慮がなされていましたか。	530 54.8%	239 24.7%	135 13.9%	35 3.6%	17 1.8%	4.28	4.25
[Q2] 8	教員の授業に対する熱意・真剣さが感じられましたか。	644 66.5%	238 24.6%	64 6.6%	6 0.6%	5 0.5%	4.57	4.52
[Q2] 9	教員は学びの環境を保つように配慮をしていましたか。	649 67.0%	231 23.9%	67 6.9%	7 0.7%	4 0.4%	4.58	4.49
[Q2] 10	教員はわかりやすく説明するように努めていましたか。	656 67.8%	224 23.1%	64 6.6%	9 0.9%	5 0.5%	4.58	4.48
[Q2] 11	この授業でシラバスに示されている到達目標が達成できましたか。	548 56.6%	284 29.3%	116 12.0%	6 0.6%	3 0.3%	4.42	4.33
[Q2] 12	この授業は充実していて、満足できるものでしたか。	598 61.8%	251 25.9%	90 9.3%	10 1.0%	9 0.9%	4.48	4.38

授業改善のためのアンケート 2018年度

史学・文化財学科

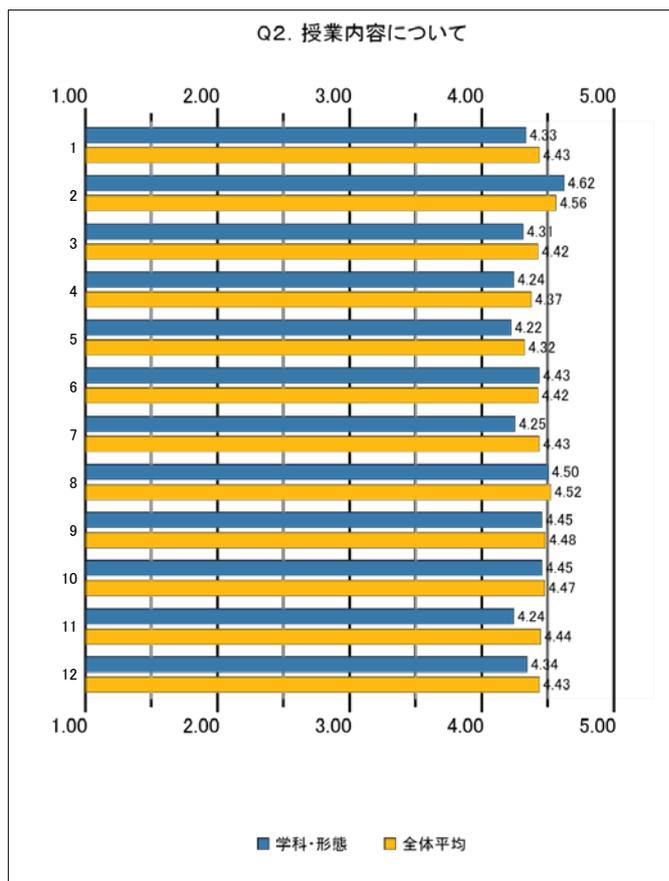
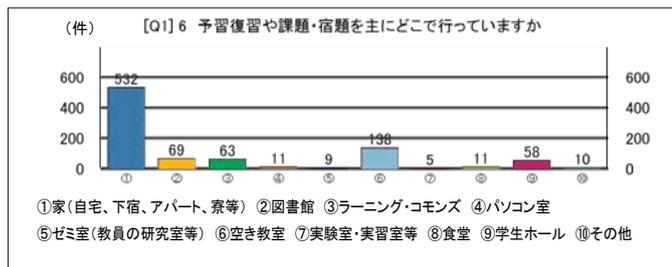
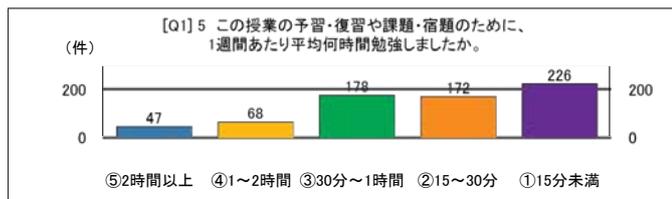
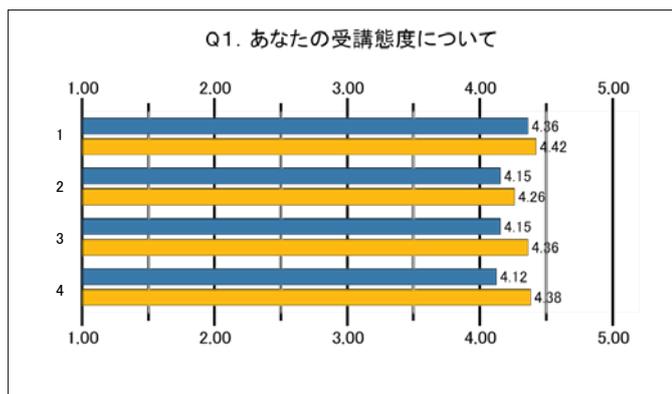


上段:回答者数 / 下段:割合

		5. そう思う	4. どちらかといえばそう思う	3. どちらともいえない	2. どちらかといえばそう思わない	1. そう思わない	学科・形態	全体平均
[Q1] 1	あなたはこの授業を休んだり遅刻しないで受講しましたか。	642 56.3%	314 27.5%	100 8.8%	47 4.1%	33 2.9%	4.31	4.34
[Q1] 2	授業中に私語、いねむりや携帯電話の使用等をせず教員の話をよく聴くように努めましたか。	513 45.0%	393 34.5%	179 15.7%	32 2.8%	16 1.4%	4.18	4.18
[Q1] 3	あなたはこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか。	493 43.2%	417 36.6%	192 16.8%	23 2.0%	10 0.9%	4.19	4.22
[Q1] 4	この授業内容の課題やレポートなどに積極的に取り組んだと思いますか。	515 45.2%	348 30.5%	228 20.0%	19 1.7%	19 1.7%	4.14	4.18
[Q1] 5	この授業の予習・復習や課題・宿題のために、1週間あたり平均何時間勉強しましたか。	(2時間以上) 108 9.5%	(1～2時間) 145 12.7%	(30分～1時間) 321 28.2%	(15～30分) 222 19.5%	(15分未満) 335 29.4%	2.52	2.37
[Q2] 1	この授業でシラバスに示されている授業概要・到達目標は十分に説明されましたか。	641 56.2%	373 32.7%	111 9.7%	6 0.5%	5 0.4%	4.44	4.40
[Q2] 2	授業時間は確保されていましたか。	847 74.3%	235 20.6%	44 3.9%	6 0.5%	2 0.2%	4.68	4.65
[Q2] 3	学生の理解度や到達度を確認し、授業を進めていましたか。	594 52.1%	372 32.6%	128 11.2%	28 2.5%	13 1.1%	4.32	4.34
[Q2] 4	教材(テキスト・配布資料)、教具の利用は適切でわかりやすい授業でしたか。	654 57.4%	329 28.9%	112 9.8%	28 2.5%	13 1.1%	4.39	4.37
[Q2] 5	板書の仕方や視聴覚機器による提示は効果的でしたか。	623 54.6%	330 28.9%	139 12.2%	26 2.3%	17 1.5%	4.33	4.30
[Q2] 6	教員の話方は、明瞭で聞き取りやすかったですか。	717 62.9%	294 25.8%	99 8.7%	19 1.7%	7 0.6%	4.49	4.42
[Q2] 7	学生が質問したり、意見が述べられるように配慮がなされていましたか。	606 53.2%	314 27.5%	164 14.4%	39 3.4%	13 1.1%	4.29	4.25
[Q2] 8	教員の授業に対する熱意・真剣さを感じられましたか。	750 65.8%	309 27.1%	69 6.1%	3 0.3%	5 0.4%	4.58	4.52
[Q2] 9	教員は学びの環境を保つように配慮をしていましたか。	705 61.8%	321 28.2%	94 8.2%	13 1.1%	3 0.3%	4.51	4.49
[Q2] 10	教員はわかりやすく説明するように努めていましたか。	694 60.9%	338 29.6%	78 6.8%	18 1.6%	7 0.6%	4.49	4.48
[Q2] 11	この授業でシラバスに示されている到達目標が達成できましたか。	592 51.9%	361 31.7%	166 14.6%	12 1.1%	5 0.4%	4.34	4.33
[Q2] 12	この授業は充実していて、満足できるものでしたか。	662 58.1%	327 28.7%	115 10.1%	19 1.7%	13 1.1%	4.41	4.38

授業改善のためのアンケート 2018年度

人間関係学科

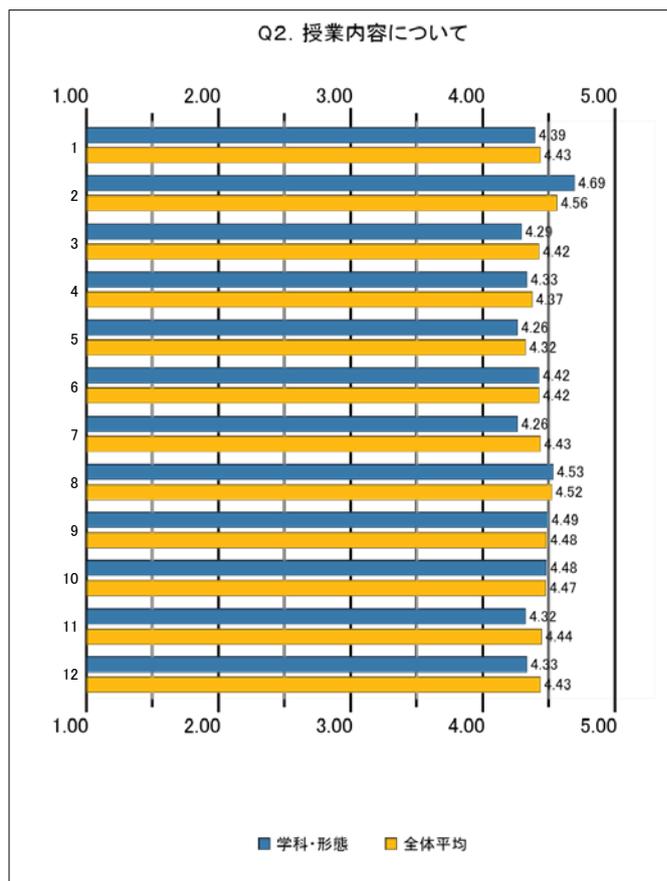
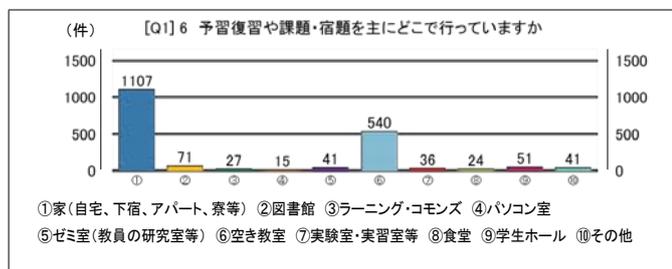
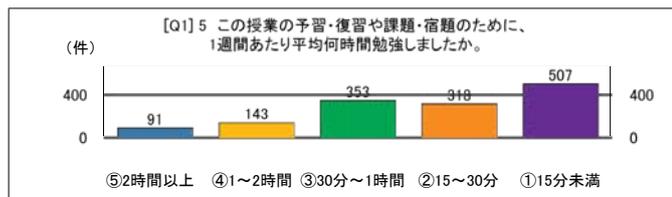
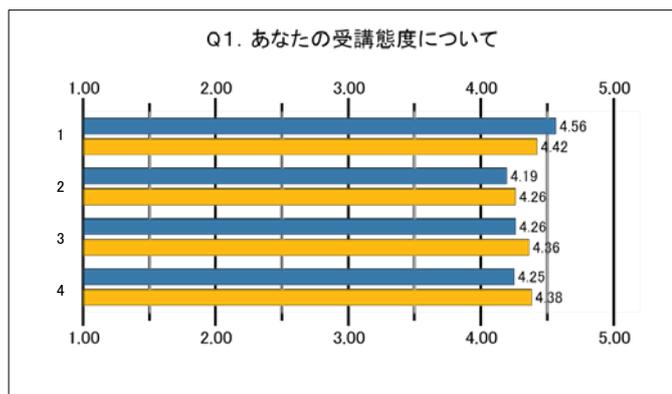


上段: 回答者数 / 下段: 割合

		5. そう思う	4. どちらかといえばそう思う	3. どちらともいえない	2. どちらかといえばそう思わない	1. そう思わない	学科・形態	全体平均
[Q1] 1	あなたはこの授業を休んだり遅刻しないで受講しましたか。	426 61.1%	167 24.0%	47 6.7%	32 4.6%	22 3.2%	4.36	4.34
[Q1] 2	授業中に私語、いねむりや携帯電話の使用等をせず教員の話をよく聴くように努めましたか。	297 42.6%	246 35.3%	114 16.4%	30 4.3%	7 1.0%	4.15	4.18
[Q1] 3	あなたはこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか。	281 40.3%	274 39.3%	113 16.2%	17 2.4%	9 1.3%	4.15	4.22
[Q1] 4	この授業内容の課題やレポートなどに積極的に取り組んだと思いますか。	292 41.9%	241 34.6%	129 18.5%	18 2.6%	9 1.3%	4.12	4.18
[Q1] 5	この授業の予習・復習や課題・宿題のために、1週間あたり平均何時間勉強しましたか。	47 6.7%	68 9.8%	178 25.5%	172 24.7%	226 32.4%	2.32	2.37
[Q2] 1	この授業でシラバスに示されている授業概要・到達目標は十分に説明されましたか。	349 50.1%	243 34.9%	88 12.6%	11 1.6%	3 0.4%	4.33	4.40
[Q2] 2	授業時間は確保されていましたか。	486 69.7%	163 23.4%	36 5.2%	8 1.1%	1 0.1%	4.62	4.65
[Q2] 3	学生の理解度や到達度を確認し、授業を進めていましたか。	347 49.8%	240 34.4%	85 12.2%	17 2.4%	5 0.7%	4.31	4.34
[Q2] 4	教材(テキスト・配布資料)、教具の利用は適切でわかりやすい授業でしたか。	344 49.4%	215 30.8%	99 14.2%	29 4.2%	7 1.0%	4.24	4.37
[Q2] 5	板書の仕方や視聴覚機器による提示は効果的でしたか。	356 51.1%	195 28.0%	102 14.6%	28 4.0%	9 1.3%	4.22	4.30
[Q2] 6	教員の話し方は、明瞭で聞き取りやすかったですか。	425 61.0%	180 25.8%	61 8.8%	17 2.4%	11 1.6%	4.43	4.42
[Q2] 7	学生が質問したり、意見が述べられるように配慮がなされていましたか。	367 52.7%	179 25.7%	113 16.2%	24 3.4%	11 1.6%	4.25	4.25
[Q2] 8	教員の授業に対する熱意・真剣さが感じられましたか。	434 62.3%	187 26.8%	64 9.2%	5 0.7%	4 0.6%	4.50	4.52
[Q2] 9	教員は学びの環境を保つように配慮をしていましたか。	406 58.2%	211 30.3%	63 9.0%	13 1.9%	1 0.1%	4.45	4.49
[Q2] 10	教員はわかりやすく説明するように努めていましたか。	427 61.3%	183 26.3%	63 9.0%	12 1.7%	9 1.3%	4.45	4.48
[Q2] 11	この授業でシラバスに示されている到達目標が達成できましたか。	318 45.6%	242 34.7%	120 17.2%	9 1.3%	4 0.6%	4.24	4.33
[Q2] 12	この授業は充実していて、満足できるものでしたか。	372 53.4%	215 30.8%	85 12.2%	16 2.3%	6 0.9%	4.34	4.38

授業改善のためのアンケート 2018年度

食物栄養学科

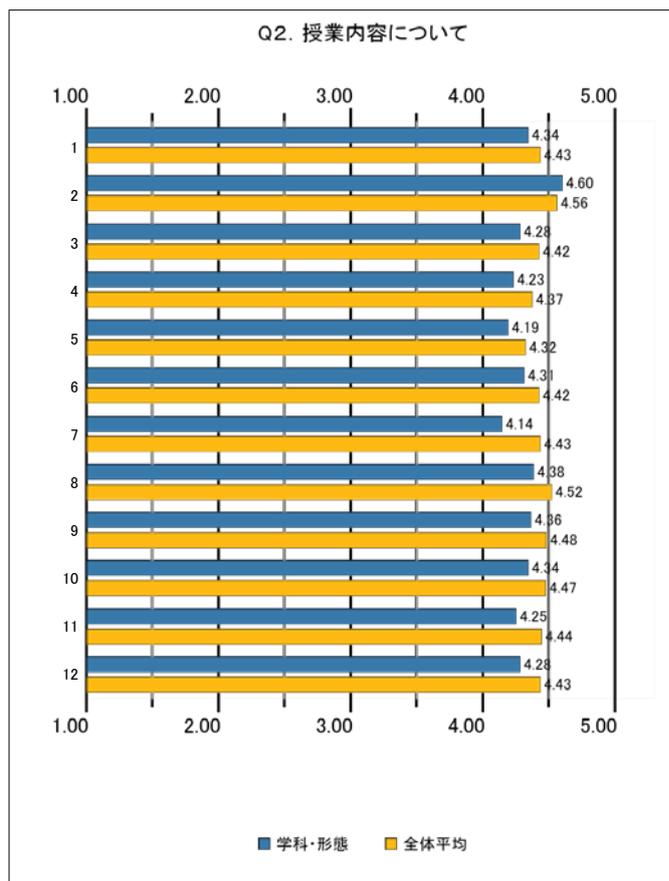
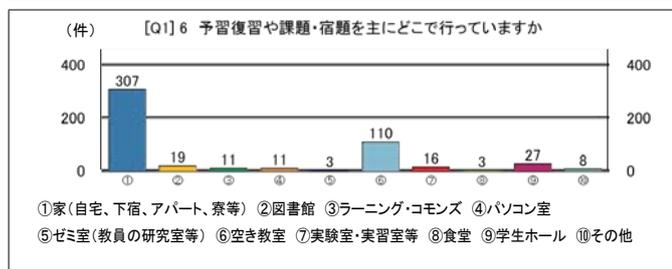
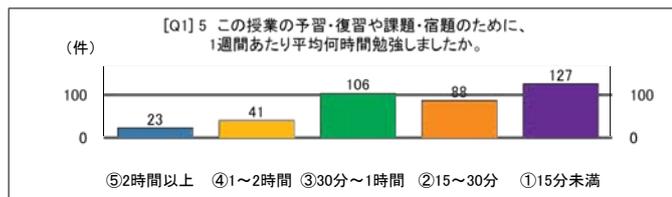
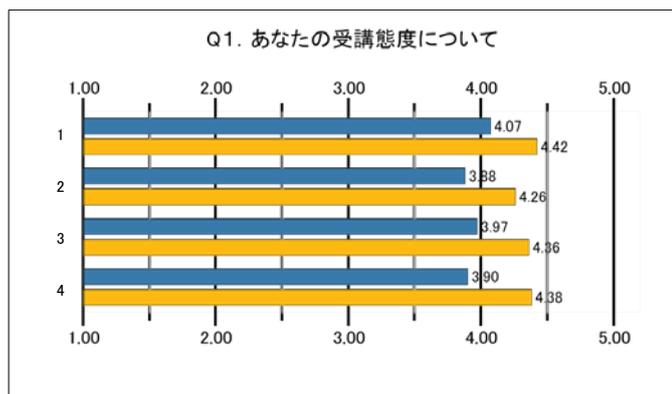


上段:回答者数 / 下段:割合

	5. そう思う	4. どちらかといえばそう思う	3. どちらともいえない	2. どちらかといえばそう思わない	1. そう思わない	学科・形態	全体平均
[Q1] 1 あなたはこの授業を休んだり遅刻しないで受講しましたか。	1015 71.5%	253 17.8%	91 6.4%	38 2.7%	20 1.4%	4.56	4.34
[Q1] 2 授業中に私語、いねむりや携帯電話の使用等をせず教員の話をよく聴くように努めましたか。	616 43.4%	508 35.8%	241 17.0%	44 3.1%	8 0.6%	4.19	4.18
[Q1] 3 あなたはこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか。	686 48.3%	469 33.1%	223 15.7%	26 1.8%	10 0.7%	4.26	4.22
[Q1] 4 この授業内容の課題やレポートなどに積極的に取り組んだと思いますか。	714 50.3%	411 29.0%	245 17.3%	29 2.0%	14 1.0%	4.25	4.18
[Q1] 5 この授業の予習・復習や課題・宿題のために、1週間あたり平均何時間勉強しましたか。	91 6.4%	143 10.1%	353 24.9%	318 22.4%	507 35.7%	2.28	2.37
[Q2] 1 この授業でシラバスに示されている授業概要・到達目標は十分に説明されましたか。	768 54.1%	466 32.8%	161 11.3%	18 1.3%	3 0.2%	4.39	4.40
[Q2] 2 授業時間は確保されていましたか。	1058 74.6%	288 20.3%	63 4.4%	4 0.3%	2 0.1%	4.69	4.65
[Q2] 3 学生の理解度や到達度を確認し、授業を進めていましたか。	767 54.1%	386 27.2%	193 13.6%	50 3.5%	19 1.3%	4.29	4.34
[Q2] 4 教材(テキスト・配布資料)、教具の利用は適切でわかりやすい授業でしたか。	791 55.7%	388 27.3%	164 11.6%	63 4.4%	11 0.8%	4.33	4.37
[Q2] 5 板書の仕方や視聴覚機器による提示は効果的でしたか。	749 52.8%	393 27.7%	195 13.7%	53 3.7%	26 1.8%	4.26	4.30
[Q2] 6 教員の話方は、明瞭で聞き取りやすかったですか。	888 62.6%	331 23.3%	124 8.7%	49 3.5%	23 1.6%	4.42	4.42
[Q2] 7 学生が質問したり、意見が述べられるように配慮がなされていましたか。	764 53.8%	361 25.4%	204 14.4%	69 4.9%	18 1.3%	4.26	4.25
[Q2] 8 教員の授業に対する熱意・真剣さが感じられましたか。	929 65.5%	354 24.9%	106 7.5%	19 1.3%	8 0.6%	4.53	4.52
[Q2] 9 教員は学びの環境を保つように配慮をしていましたか。	881 62.1%	385 27.1%	127 8.9%	19 1.3%	4 0.3%	4.49	4.49
[Q2] 10 教員はわかりやすく説明するように努めていましたか。	896 63.1%	362 25.5%	114 8.0%	37 2.6%	6 0.4%	4.48	4.48
[Q2] 11 この授業でシラバスに示されている到達目標が達成できましたか。	710 50.0%	472 33.3%	214 15.1%	14 1.0%	7 0.5%	4.32	4.33
[Q2] 12 この授業は充実していて、満足できるものでしたか。	781 55.0%	396 27.9%	181 12.8%	41 2.9%	16 1.1%	4.33	4.38

授業改善のためのアンケート 2018年度

発酵食品学科

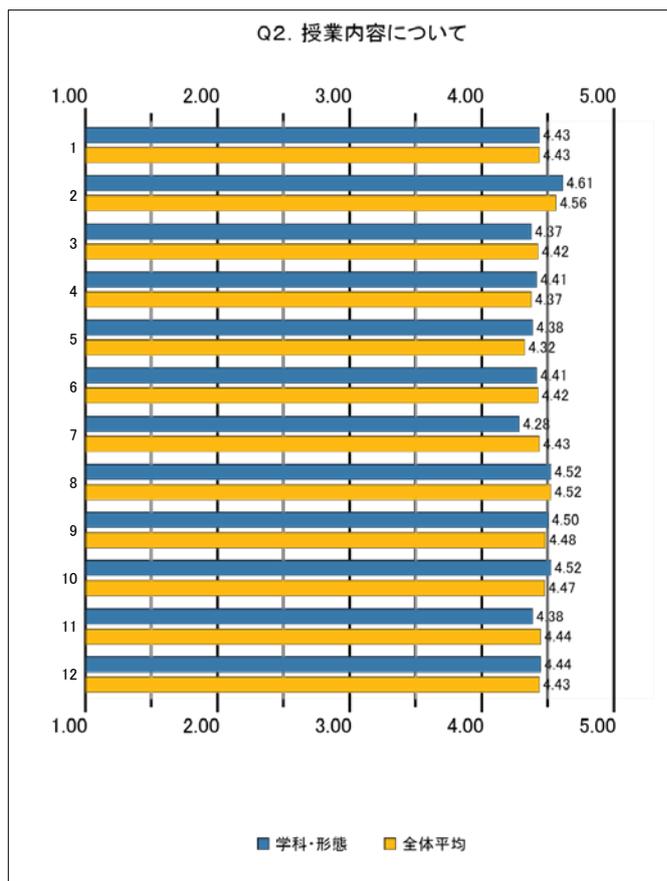
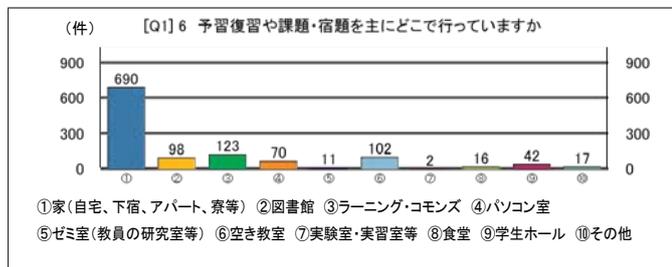
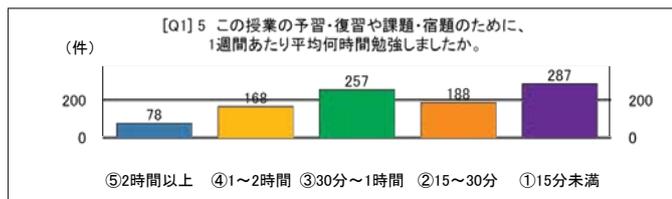
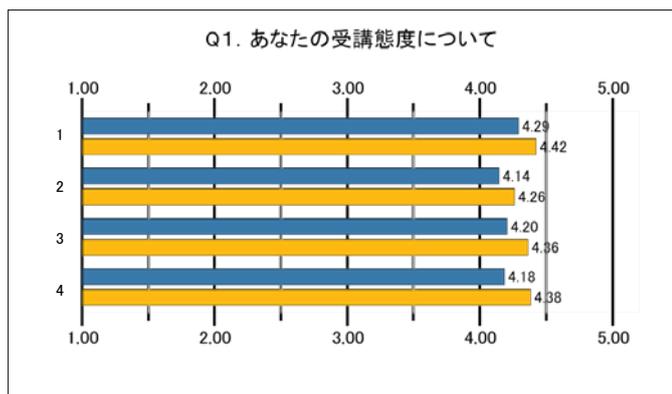


上段:回答者数 / 下段:割合

		5. そう思う	4. どちらかといえばそう思う	3. どちらともいえない	2. どちらかといえばそう思わない	1. そう思わない	学科・形態	全体平均
[Q1] 1	あなたはこの授業を休んだり遅刻しないで受講しましたか。	199 51.6%	90 23.3%	40 10.4%	38 9.8%	19 4.9%	4.07	4.34
[Q1] 2	授業中に私語、いねむりや携帯電話の使用等をせず教員の話をよく聴くように努めましたか。	120 31.1%	155 40.2%	70 18.1%	25 6.5%	16 4.1%	3.88	4.18
[Q1] 3	あなたはこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか。	134 34.7%	138 35.8%	90 23.3%	18 4.7%	6 1.6%	3.97	4.22
[Q1] 4	この授業内容の課題やレポートなどに積極的に取り組んだと思いますか。	132 34.2%	119 30.8%	110 28.5%	15 3.9%	9 2.3%	3.90	4.18
[Q1] 5	この授業の予習・復習や課題・宿題のために、1週間あたり平均何時間勉強しましたか。	(2時間以上) 23 6.0%	(1～2時間) 41 10.6%	(30分～1時間) 106 27.5%	(15～30分) 88 22.8%	(15分未満) 127 32.9%	2.33	2.37
[Q2] 1	この授業でシラバスに示されている授業概要・到達目標は十分に説明されましたか。	200 51.8%	126 32.6%	53 13.7%	6 1.6%	1 0.3%	4.34	4.40
[Q2] 2	授業時間は確保されていましたか。	265 68.7%	94 24.4%	21 5.4%	5 1.3%	1 0.3%	4.60	4.65
[Q2] 3	学生の理解度や到達度を確認し、授業を進めていましたか。	199 51.6%	113 29.3%	62 16.1%	9 2.3%	3 0.8%	4.28	4.34
[Q2] 4	教材(テキスト・配布資料)、教具の利用は適切でわかりやすい授業でしたか。	194 50.3%	111 28.8%	60 15.5%	16 4.1%	5 1.3%	4.23	4.37
[Q2] 5	板書の仕方や視聴覚機器による提示は効果的でしたか。	185 47.9%	118 30.6%	63 16.3%	12 3.1%	8 2.1%	4.19	4.30
[Q2] 6	教員の話方は、明瞭で聞き取りやすかったですか。	214 55.4%	98 25.4%	57 14.8%	13 3.4%	4 1.0%	4.31	4.42
[Q2] 7	学生が質問したり、意見が述べられるように配慮がなされていましたか。	174 45.1%	113 29.3%	83 21.5%	12 3.1%	4 1.0%	4.14	4.25
[Q2] 8	教員の授業に対する熱意・真剣さが感じられましたか。	206 53.4%	127 32.9%	47 12.2%	6 1.6%	0 0.0%	4.38	4.52
[Q2] 9	教員は学びの環境を保つように配慮をしていましたか。	206 53.4%	122 31.6%	51 13.2%	4 1.0%	3 0.8%	4.36	4.49
[Q2] 10	教員はわかりやすく説明するように努めていましたか。	217 56.2%	105 27.2%	48 12.4%	12 3.1%	3 0.8%	4.34	4.48
[Q2] 11	この授業でシラバスに示されている到達目標が達成できましたか。	185 47.9%	121 31.3%	74 19.2%	5 1.3%	1 0.3%	4.25	4.33
[Q2] 12	この授業は充実していて、満足できるものでしたか。	197 51.0%	122 31.6%	51 13.2%	11 2.8%	5 1.3%	4.28	4.38

授業改善のためのアンケート 2018年度

国際経営学科

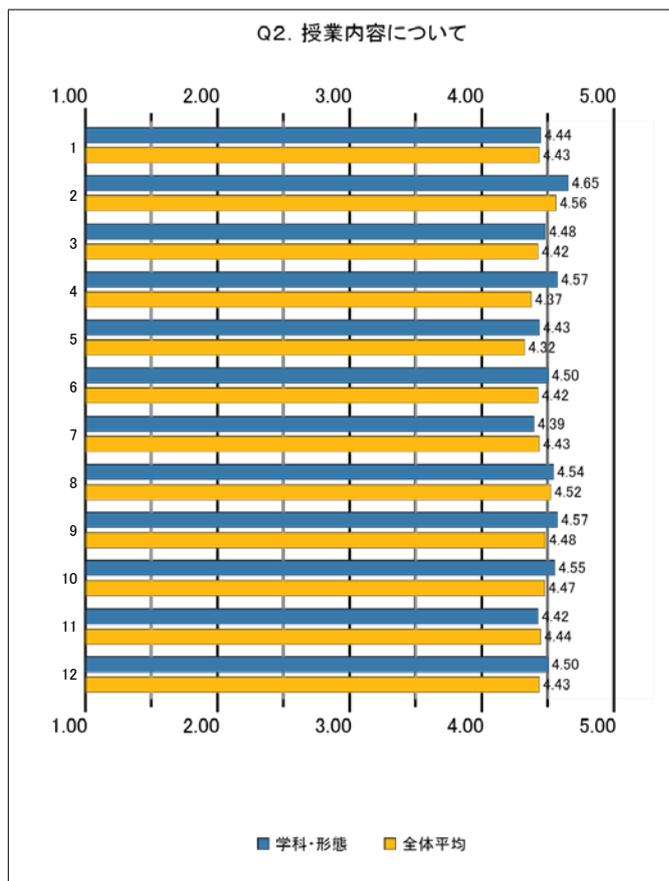
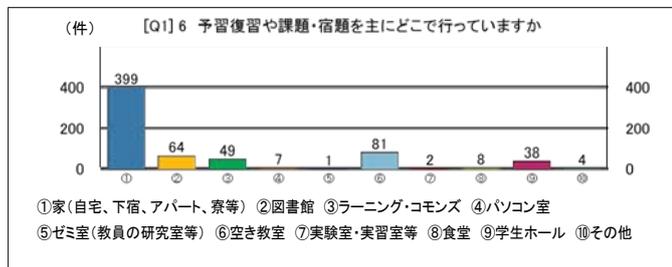
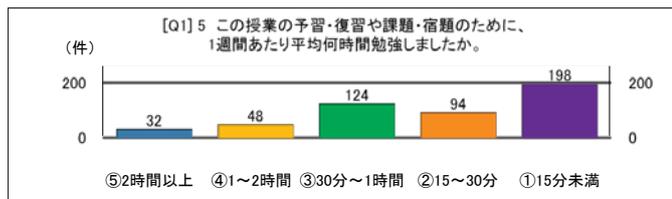
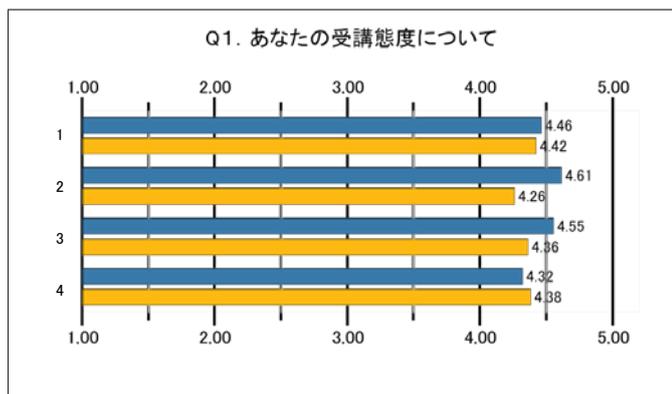


上段:回答者数 / 下段:割合

		5. そう思う	4. どちらかといえばそう思う	3. どちらともいえない	2. どちらかといえばそう思わない	1. そう思わない	学科・形態	全体平均
[Q1] 1	あなたはこの授業を休んだり遅刻しないで受講しましたか。	538 54.6%	279 28.3%	107 10.9%	38 3.9%	23 2.3%	4.29	4.34
[Q1] 2	授業中に私語、いねむりや携帯電話の使用等をせず教員の話をよく聴くように努めましたか。	416 42.2%	365 37.1%	151 15.3%	30 3.0%	23 2.3%	4.14	4.18
[Q1] 3	あなたはこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか。	445 45.2%	345 35.0%	151 15.3%	34 3.5%	7 0.7%	4.20	4.22
[Q1] 4	この授業内容の課題やレポートなどに積極的に取り組んだと思いますか。	468 47.5%	289 29.3%	188 19.1%	25 2.5%	12 1.2%	4.18	4.18
[Q1] 5	この授業の予習・復習や課題・宿題のために、1週間あたり平均何時間勉強しましたか。	(2時間以上) 78 7.9%	(1~2時間) 168 17.1%	(30分~1時間) 257 26.1%	(15~30分) 188 19.1%	(15分未満) 287 29.1%	2.53	2.37
[Q2] 1	この授業でシラバスに示されている授業概要・到達目標は十分に説明されましたか。	569 57.8%	299 30.4%	95 9.6%	15 1.5%	7 0.7%	4.43	4.40
[Q2] 2	授業時間は確保されていましたか。	677 68.7%	237 24.1%	66 6.7%	2 0.2%	3 0.3%	4.61	4.65
[Q2] 3	学生の理解度や到達度を確認し、授業を進めていましたか。	551 55.9%	293 29.7%	111 11.3%	19 1.9%	9 0.9%	4.37	4.34
[Q2] 4	教材(テキスト・配布資料)、教具の利用は適切でわかりやすい授業でしたか。	583 59.2%	265 26.9%	105 10.7%	23 2.3%	8 0.8%	4.41	4.37
[Q2] 5	板書の仕方や視聴覚機器による提示は効果的でしたか。	564 57.3%	281 28.5%	102 10.4%	30 3.0%	6 0.6%	4.38	4.30
[Q2] 6	教員の話し方は、明瞭で聞き取りやすかったですか。	604 61.3%	247 25.1%	91 9.2%	27 2.7%	12 1.2%	4.41	4.42
[Q2] 7	学生が質問したり、意見が述べられるように配慮がなされていましたか。	519 52.7%	277 28.1%	153 15.5%	21 2.1%	14 1.4%	4.28	4.25
[Q2] 8	教員の授業に対する熱意・真剣さが感じられましたか。	640 65.0%	246 25.0%	84 8.5%	6 0.6%	7 0.7%	4.52	4.52
[Q2] 9	教員は学びの環境を保つように配慮をしていましたか。	618 62.7%	271 27.5%	76 7.7%	8 0.8%	11 1.1%	4.50	4.49
[Q2] 10	教員はわかりやすく説明するように努めていましたか。	649 65.9%	234 23.8%	79 8.0%	13 1.3%	7 0.7%	4.52	4.48
[Q2] 11	この授業でシラバスに示されている到達目標が達成できましたか。	550 55.8%	294 29.8%	115 11.7%	16 1.6%	9 0.9%	4.38	4.33
[Q2] 12	この授業は充実していて、満足できるものでしたか。	593 60.2%	265 26.9%	100 10.2%	19 1.9%	7 0.7%	4.44	4.38

授業改善のためのアンケート 2018年度

教職課程

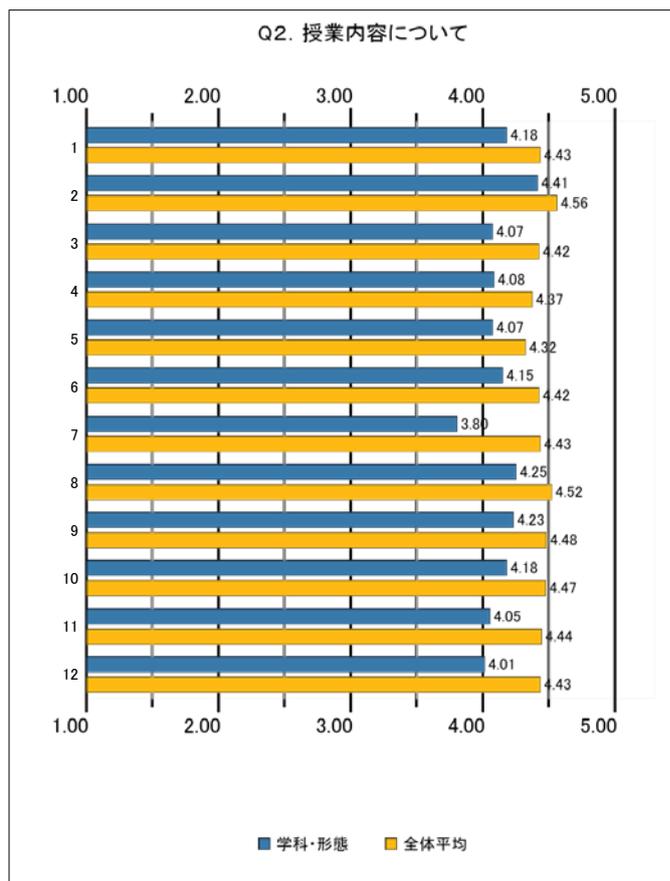
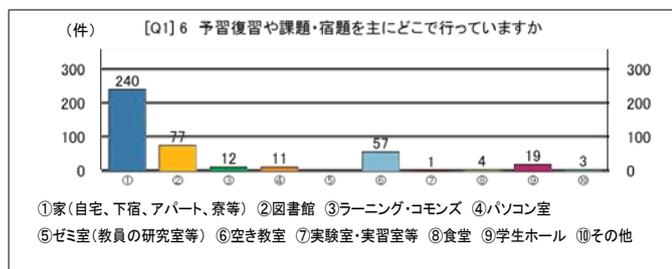
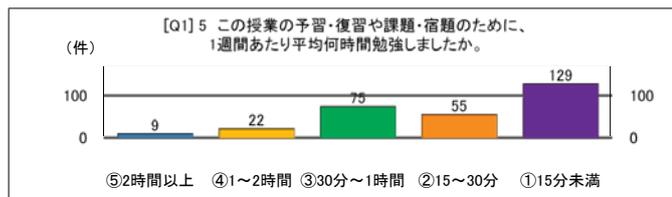
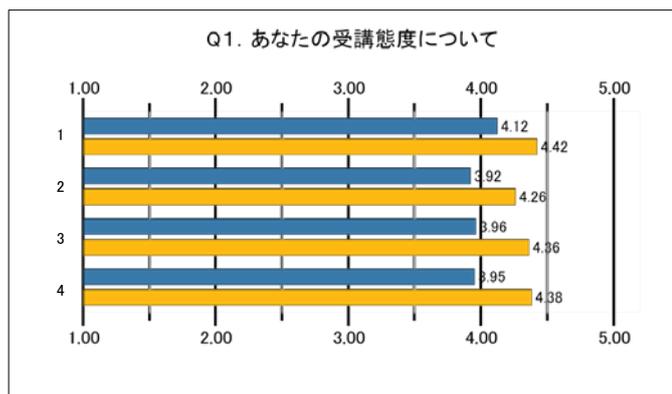


上段:回答者数 / 下段:割合

		5. そう思う	4. どちらかといえばそう思う	3. どちらともいえない	2. どちらかといえばそう思わない	1. そう思わない	学科・形態	全体平均
[Q1] 1	あなたはこの授業を休んだり遅刻しないで受講しましたか。	312 61.9%	133 26.4%	34 6.7%	16 3.2%	5 1.0%	4.46	4.34
[Q1] 2	授業中に私話、いねむりや携帯電話の使用等をせず教員の話をよく聴くように努めましたか。	346 68.7%	120 23.8%	30 6.0%	3 0.6%	1 0.2%	4.61	4.18
[Q1] 3	あなたはこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか。	319 63.3%	140 27.8%	38 7.5%	2 0.4%	0 0.0%	4.55	4.22
[Q1] 4	この授業内容の課題やレポートなどに積極的に取り組んだと思いますか。	278 55.2%	124 24.6%	86 17.1%	8 1.6%	2 0.4%	4.32	4.18
[Q1] 5	この授業の予習・復習や課題・宿題のために、1週間あたり平均何時間勉強しましたか。	(2時間以上) 32 6.3%	(1～2時間) 48 9.5%	(30分～1時間) 124 24.6%	(15～30分) 94 18.7%	(15分未満) 198 39.3%	2.22	2.37
[Q2] 1	この授業でシラバスに示されている授業概要・到達目標は十分に説明されましたか。	290 57.5%	152 30.2%	50 9.9%	4 0.8%	2 0.4%	4.44	4.40
[Q2] 2	授業時間は確保されていましたか。	363 72.0%	106 21.0%	25 5.0%	4 0.8%	2 0.4%	4.65	4.65
[Q2] 3	学生の理解度や到達度を確認し、授業を進めていましたか。	307 60.9%	140 27.8%	45 8.9%	3 0.6%	5 1.0%	4.48	4.34
[Q2] 4	教材(テキスト・配布資料)、教具の利用は適切でわかりやすい授業でしたか。	342 67.9%	112 22.2%	40 7.9%	3 0.6%	3 0.6%	4.57	4.37
[Q2] 5	板書の仕方や視覚機器による提示は効果的でしたか。	305 60.5%	126 25.0%	55 10.9%	9 1.8%	4 0.8%	4.43	4.30
[Q2] 6	教員の話方は、明瞭で聞き取りやすかったですか。	332 65.9%	105 20.8%	50 9.9%	9 1.8%	4 0.8%	4.50	4.42
[Q2] 7	学生が質問したり、意見が述べられるように配慮がなされていましたか。	307 60.9%	107 21.2%	68 13.5%	11 2.2%	6 1.2%	4.39	4.25
[Q2] 8	教員の授業に対する熱意・真剣さが感じられましたか。	338 67.1%	111 22.0%	40 7.9%	5 1.0%	5 1.0%	4.54	4.52
[Q2] 9	教員は学びの環境を保つように配慮をしていましたか。	348 69.0%	102 20.2%	40 7.9%	6 1.2%	4 0.8%	4.57	4.49
[Q2] 10	教員はわかりやすく説明するように努めていましたか。	341 67.7%	113 22.4%	34 6.7%	5 1.0%	7 1.4%	4.55	4.48
[Q2] 11	この授業でシラバスに示されている到達目標が達成できましたか。	293 58.1%	136 27.0%	62 12.3%	6 1.2%	2 0.4%	4.42	4.33
[Q2] 12	この授業は充実していて、満足できるものでしたか。	324 64.3%	124 24.6%	38 7.5%	7 1.4%	7 1.4%	4.50	4.38

授業改善のためのアンケート 2018年度

司書課程



上段:回答者数 / 下段:割合

		5. そう思う	4. どちらかといえばそう思う	3. どちらともいえない	2. どちらかといえばそう思わない	1. そう思わない	学科・形態	全体平均
[Q1] 1	あなたはこの授業を休んだり遅刻しないで受講しましたか。	132 45.2%	95 32.5%	38 13.0%	18 6.2%	8 2.7%	4.12	4.34
[Q1] 2	授業中に私語、いねむりや携帯電話の使用等をせず教員の話をよく聴くように努めましたか。	86 29.5%	125 42.8%	55 18.8%	21 7.2%	4 1.4%	3.92	4.18
[Q1] 3	あなたはこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか。	101 34.6%	102 34.9%	69 23.6%	15 5.1%	2 0.7%	3.96	4.22
[Q1] 4	この授業内容の課題やレポートなどに積極的に取り組んだと思いますか。	106 36.3%	87 29.8%	81 27.7%	12 4.1%	3 1.0%	3.95	4.18
[Q1] 5	この授業の予習・復習や課題・宿題のために、1週間あたり平均何時間勉強しましたか。	9 3.1%	22 7.5%	75 25.7%	55 18.8%	129 44.2%	2.05	2.37
[Q2] 1	この授業でシラバスに示されている授業概要・到達目標は十分に説明されましたか。	121 41.4%	111 38.0%	52 17.8%	4 1.4%	3 1.0%	4.18	4.40
[Q2] 2	授業時間は確保されていましたか。	169 57.9%	80 27.4%	36 12.3%	3 1.0%	3 1.0%	4.41	4.65
[Q2] 3	学生の理解度や到達度を確認し、授業を進めていましたか。	126 43.2%	87 29.8%	59 20.2%	12 4.1%	5 1.7%	4.07	4.34
[Q2] 4	教材(テキスト・配布資料)、教具の利用は適切でわかりやすい授業でしたか。	125 42.8%	97 33.2%	47 16.1%	12 4.1%	10 3.4%	4.08	4.37
[Q2] 5	板書の仕方や視聴覚機器による提示は効果的でしたか。	118 40.4%	102 34.9%	48 16.4%	18 6.2%	5 1.7%	4.07	4.30
[Q2] 6	教員の話方は、明瞭で聞き取りやすかったですか。	126 43.2%	105 36.0%	44 15.1%	10 3.4%	6 2.1%	4.15	4.42
[Q2] 7	学生が質問したり、意見が述べられるように配慮がなされていましたか。	94 32.2%	84 28.8%	81 27.7%	24 8.2%	8 2.7%	3.80	4.25
[Q2] 8	教員の授業に対する熱意・真剣さを感じられましたか。	132 45.2%	109 37.3%	43 14.7%	5 1.7%	2 0.7%	4.25	4.52
[Q2] 9	教員は学びの環境を保つように配慮をしていましたか。	130 44.5%	110 37.7%	40 13.7%	9 3.1%	2 0.7%	4.23	4.49
[Q2] 10	教員はわかりやすく説明するように努めていましたか。	130 44.5%	104 35.6%	43 14.7%	7 2.4%	7 2.4%	4.18	4.48
[Q2] 11	この授業でシラバスに示されている到達目標が達成できましたか。	106 36.3%	107 36.6%	69 23.6%	6 2.1%	3 1.0%	4.05	4.33
[Q2] 12	この授業は充実していて、満足できるものでしたか。	114 39.0%	102 34.9%	52 17.8%	12 4.1%	10 3.4%	4.01	4.38

4. 2018年度学生による授業評価アンケート実施要項等

平成30年度学生による授業評価アンケート実施要領

1. 対象とする授業科目

- (1) 専任教員については自ら選択した2科目とする。専任教員の2科目は講義1科目＋演習・実験・実習1科目とする。講義だけの場合は適宜の2科目とする。
- (2) 非常勤講師については各学科が選択する5科目以内を対象とする。
- (3) 受講生が極端に少ない授業はアンケート対象科目から除く。

2. 実施時期

- (1) 平成30年度は前期に実施する。
評価対象授業科目の届出：平成30年6月22日（金）
（届出用紙は別途メールボックスに配布）
評価実施期間：平成30年7月17日（火）～27日（金）（14週から15週目）

3. 実施方法

- (1) 各教員に学生数分のアンケート用紙（封筒入り）を予め配布する（7月10日頃予定）。
- (2) 各教員は対象授業の終了前20分をめぐりに学生にアンケート用紙を配布する。
- (3) 「科目名」「科目コード」「担当教員名」を板書する。質問があれば受け付ける。
- (4) アンケートの回収・提出は、学生2～3名に以下のことを指示して行わせる。
 - ①アンケートを回収し、枚数を数える。
 - ②封筒表紙に「回答者数」「実施日」を記入する。
 - ③封筒にアンケートを入れて封をし、遅滞なく事務局（1号館1階）に提出する。

4. アンケート項目

アンケート項目は平成29年度と同様とする。

5. 集計

- (1) 集計は外部委託する。
- (2) 集計は大学全体の平均値と教員別の質問項目ごとの平均値の比較、教員別の自由記述の整理、学部・学科別の質問項目ごとの平均値の一覧を基本とする。

6. アンケート結果の活用方法（授業改善を図るための制度的取組）

- (1) 各教員に本人の評価結果（質問項目別の数値＋自由記述）、全体の平均値を通知する。
- (2) 各教員は評価結果に基づき、「授業改善プラン」を提出し、誠実に授業改善に取り組む。
- (3) 調査結果と「授業改善プラン」を報告書にとりまとめ、学生の閲覧に供する。
- (4) 各教員の評価結果は学長・学部長にも提供する。学長・学部長は、評価が極端に低い教員に対して助言を行う。また、評価結果の高い教員の授業改善の取組みは、FD研修会で発表するなど有効に情報を共有し、授業改善に活かす。

以下のそれぞれの項目について、感じたことがあれば以下に自由に書いてください。

1. この授業で良いと思う点を教えてください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

2. この授業の改善点を教えてください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

ご協力ありがとうございました。